

**(インターネット・はがき等で寄せられた意見)**

## **0 3 . 鬼怒川・小貝川ブロック**

## 利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
1	60歳以上	男性	栃木県	二宮町	<p>1. 河川敷 河原・水辺への入場ができない。 河原や水辺はありますが場所に行くまでに距離があると共に途中で雑草や雑木があり行きにくい。また雑草・雑木が高木化し見通しが悪く、不審者や野犬 害虫が多く不安で入場できない。対策、雑草や雑木の除去が必要。雑草等を焼却・ブルドーザー等でつぶす方法等が考えられます。除去することにより入場し易く害虫・不審者・不法投棄等も少なくなると信じています。親子で河原の散策(植物の観察・砂地での遊び)・水辺での安全意識の高揚(水性植物・生物の観察)野鳥の観察・野鳥の住み易い場所づくり、害虫減少に役立つと思われます。</p>	<p>治水・利水・環境自然との調和を図りつつ、多くの方々が安全に水辺に親しんでいただけるよう拠点として計画的に水辺プラザ・水辺の楽校などの整備を進めています。整備にあたっては、流域のニーズや自治体の計画をふまえるとともにユニバーサルデザインに配慮した河川へのアクセス手段の整備を実施します。</p> <p>また、河川内の樹木については、洪水の流下に対する支障、河川巡視上の支障、ゴミの不法投棄の温床、堤防等に対する悪影響等について検討を行い、必要に応じ樹木の伐採等を行います。なお、伐採に当たっては、動植物の生息環境及び景観等の水辺環境に配慮しながら実施するとともに、伐採した樹木の有効利用について検討します。</p>
					<p>2. 堤防の美化を図る 建設省時代に構築した用水取り入れ口、水門・洪水対策等の諸施策物への後世への伝達(継承) 現況 雑草・雑木等により構造物がみられない状況であり、不法投棄しやすい場所になっている。</p>	<p>鬼怒川上流部の急流箇所には、水の勢いを弱める捨三基柱などの伝統的な治水対策が施工されており、現在でもその効果を発揮しているところです。これら伝統的な治水施設については、維持管理を行うと共に、地元博物館等との連携・協働による広報等に努めるなど、水害防止のための先人の知恵を後世に伝承する努力をします。</p> <p>また、河川内の樹木の繁茂により周辺からの視界が遮られ、施設の状況が把握できなかつたり、景観の悪化やゴミの不法投棄の温床となっている箇所については、動植物の生息環境及び景観等の水辺環境に配慮しながら、伐採等の対策を講じていくとともに、伐採した樹木の有効利用について検討します。</p>
					<p>3. 一里塚等に野鳥 水性植物・水性生物・植物(雑木・雑草) 四季の景色・雲等の看板を設置し来所者の自然への関心を高める策がほしいです。自然を守っていく関心も啓発され環境教育の拡大が図れると思います。</p>	<p>河川に関する情報に関しては、鬼怒川・小貝川の堤防に設置されている「川辺情報板」(下館河川事務所管内に56箇所、主に一里塚等)や下館河川事務所が発行する「流域情報誌Rio」、ホームページなどにより、これまでさまざまな情報発信を行っているところでありますが、環境教育に関する情報発信にも一層の充実を図っていきたいと考えております。また、緊急時に水防用土砂としても活用する一里塚については、災害時の利用を考慮したうえで、平常時の活用についても検討していきます。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>4. 河川環境保全には地域住民の協力なしには成し易ない数多く地域の声を聴き地域に還元してほしいです。</p>	<p>河川環境の保全等適正な河川管理を行うためには、河川管理者のみならず沿川の自治体や地域の方々とも協働・連携していくことが必要であると認識しております。</p> <p>現在、河川整備や河川利用または河川環境に関する地域の要望を十分に把握し、あわせて河川愛護思想の普及啓発及び河川の適正な維持管理に資するための「河川愛護モニター制度」、河川に対して深い理解をもっている人や活動を行っている人たちが住民参加の川づくり活動等を支援するとともに、同時に行政と住民・地域をつなぐことを目的としている「河川コーディネーター制度」などがあり、これらの方々との意見交換会なども実施しています。</p> <p>また、地域の住民団体等が自主的に河川の環境美化に努め、行政（河川管理者、自治体）がこの活動を支援する「市民と協働で行う河川環境管理」の制度により住民参加型の協働プロジェクトに取り組んでいます。</p> <p>今後も引き続きこのような取り組みの充実を図り、地域の方々や関係機関と一体となった協働・連携による河川整備を促進していきます。</p>
					<p>5. 河川の継続監視をお願いします。</p>	<p>河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わるため、常に川の状態を把握・評価し、対応が急がれるところから、補修や改修あるいは計画の見直しを行うなど、巡視・点検、維持・補修、評価、公表など一連の行為からなるサイクル型管理体系の充実を図る必要があります。このため、鬼怒川及び小貝川に応じた維持管理目標と、具体的な維持管理の内容を位置付けた河川の維持管理に関する計画を定め、引き続き適切な河川管理を行っていきます。</p>
2	60歳以上	男性	茨城県	取手市	<p>国道6号の文巻橋際から藤代大橋の間の土手を車がスピードを上げて走行して、私達が土手の上をウォーキングしていて非常に危険であります。この土手の上は一般車両は通行止めになっている筈になるし違反車両が横行している。依って一般車両が土手の上に入りしない様にバリケード又は通行不能の柵を作って欲しい。厳しく措置しないと違反車両はなくなりません。</p> <p>私達市民が安心してウォーキング出来る様よろしくご措置の程、お願い致します。</p>	<p>堤防の上は、日常の河川巡視や洪水時の水防活動などの河川管理を行うための管理用通路にもなっていますが、場所によっては、県道、市道、町道との兼用になっている箇所があります。当該箇所は、県道、市道、町道との兼用にはなっていない区間ですので、今回のご意見をふまえ、巡視での注意喚起や車止めの設置などを検討します。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
3	50代	男性	茨城県	結城市	僕は筑西市〇〇〇〇に平屋をたてました。鬼怒川新橋の開通を心より待っています。茨城新聞などでは160億円費用。発注がないので、工事が中断していると聞きます。どうか将来、筑西幹線道路とともに関本の鬼怒川新橋をつくって下さい。 足利工大・工学部卒。	ご要望の件については、担当部局（道路管理者：茨城県）に伝えます。

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
4	60歳以上	男性	茨城県	取手市	<p>個々10年位の間に岡堰周辺は大部整備もされきれいになりました。私は不定期ながら岡堰周辺の堤を散歩しております。散歩で気づくのは心ない者のポイ捨て、手すり破壊又は堤防の標識など自然には壊れる物では無い物まで悪質ないたずらで心が痛みます。</p>	<p>河川敷はゴミなどの不法投棄の対象となりやすく、近年、河川への不法投棄が増加し、行為者・所有者が判明しないものは河川管理者が撤去を行っています。</p> <p>ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを自治体と連携し、推進しています。</p> <p>また、施設の盗難や破損、悪質ないたずら等については、河川巡視の中で引き続き監視を行ってまいります。気付いた点につきましては、今後も意見をお願いします。</p>
					<p>今度岡堰中の島への人道橋も真近かに完成するそうなので中の島の整備も行われると思います。今から50年位以前には岡堰の堤にも桜の樹が一杯あり花見時には露店商が何百軒も出て子供の頃はとても楽しかった事を思い出されます。其の中で子供心に今も思い出される言葉があります。それは露店商の手品遊びで物を入れた器を当てる手品で（目の錯覚は私しのもの）と言う言葉が思い出されます。其の頃の思い出をこれからの子供達にも思い出として残してあげられたらと思ひ提出させて頂きました。</p> <p>現在の堤防の状況は幅員も広く植樹等で被害の出る事も無いと思ひますがどうなのでしょう？</p>	<p>岡堰は平成8年度に改築が完了し、平成10年度に旧岡堰が撤去されました。改築された岡堰周辺の整備については、平成12年3月に学識者や地元自治体等で「岡堰周辺水辺構想検討委員会」が設置され検討されてきました。その結果を反映しながら岡堰中の島橋や高水敷きの整備等に取り組んできています。</p> <p>岡堰周辺の堤防には桜の木が植えられたりして地域の人たちの憩いの場として親しまれてきましたが、台風時の強風による堤防上の樹木の倒伏や堤防の崩壊等の過去の災害経験を通じて、現在では、河川区域内における樹木の植樹については基準が定められており、堤防上の植樹は原則として禁止していますが、自治体の計画等を踏まえ、治水上必要な堤防の形状を確保し、更に盛土を行った場所への植樹は認められています。この場合、自治体が必要な用地を確保し、河川管理者と協働で植栽のための事業を実施することとなります。</p> <p>なお、岡堰中の島については、公園管理者（取手市）と調整を図り、施設の適切な維持管理に努めます。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
5	60歳以上	男性	茨城県	下妻市	<p>小貝川における河川横断杭撤去の要望の件          今回小貝川の下妻ふれあい公園を基点に「水辺で遊ぼう」のイベントを7月19日（海の日）開催、関係行政・ボランティア団体の協力を得て多数の参加者のもと、成功利に無事終了いたしました。（別途報告書あり）</p> <p>特に国土交通省黒湖出張所（以下同様にして略して呼ぶ）様には、事前に実施した実際のボートを使った川下りの下見は黒子出張所の清水所長にも参加していただき、危険箇所の事前予測等大変有効だったと確信いたしております。</p> <p>ところで川下りの工程水路にありました河川を横断している杭は国道125号線に掛かる祝橋上流約800mにあり、国土交通省のカンバン表示では46.2kmにあります。</p> <p>今回の川下りでは最大の危険箇所であることを確認しました。水位が下がった場合は中止も考慮して日程を進めました。</p> <p>お陰で黒子観測所の時間毎の時間水位月表（添付資料あり）の検索の手順も習得できましたが、問題は横断杭の目的が明確でなく、現在では大変危険箇所として私たちは認識すると同時に、流木を含めたゴミが大量に引っ掛かっている事も、減水してくると地元民は認知しております。</p> <p>この際まず杭の目的を明確にし、現行では必要でないことが確認された場合は撤去出来ないか、ここに要望いたします。</p> <p>参加者からの声では来年も同様のイベントが開催できないかとの話も出ています。</p>	<p>ご指摘のあった河川を横断している杭については、高道祖樋管の用水取り入れのために設置された施設です。</p> <p>現在は、必要のない施設であるため、高道祖樋管の管理者に対し、出水期前の施設点検時に撤去するよう指導を行っています。</p>
6	40代	男性	栃木県	上三川町	<p>今までの河川整備は治水を考えたダム建設が主であったが今後は新たなダム建設は必要ないと思う。近年、異常気象といわれる大雨がさまざまな場所で、これまでの想定を超える規模で発生していることから、上流から下流まで全体の堤防を強化させて、どの地域でどのような大雨があっても対応できるようにしていく必要があると思われる。</p> <p>自然保護や地域住民の生活にプラスとなるような河川の活用も必要と思われる。</p>	<p>河川の整備にあたっては、最初からダムにこだわったり、またダムを排除するのではなく、個々の河川や地域の特性をとらえて堤防、遊水地、ダムなどを総合的に検討し、最も適切な組み合わせで実施することが必要です。</p> <p>鬼怒川・小貝川には豊かな自然が残っております。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性をもとより、動植物の生息・生育環境の保全にも十分配慮していきます。また、流域の歴史及び文化等に地域特性もふまえて治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれの目標の調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備に努めていきます。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
7	40代	男性	栃木県	宇都宮市	整備が本当に必要ですか？税金のムダ使いと思います。自然に近い形にすべきです。鬼怒川支流の大谷川の堰堤の数は異常です。工事ごとに魚の数は減り放流しても魚がすぐになくなります。河川敷の公園、パターゴルフなど施設も業者とつながっているとしか思えない。必要のない物を作り、利用者の割に管理費がかかり大きな税金のムダ使いです。何もしないで欲しい。整備局は知らない部署。”川の事は釣り人に聞け”	日光地域は地形が急峻で、脆弱な地質からなっています。そのため、日光は大雨のたびに土石流や洪水の氾濫が頻繁に発生し、大きな災害に見舞われてきました。災害の詳しい記録として残る最古のものは江戸時代前期・寛文2年（1662年）、その後明治35年の大災害、昭和22年のカスリーン台風などがあります。 鬼怒川流域の砂防事業は古く、明治30年砂防法制定に伴い、栃木県が明治33年から、その後、大正7年に内務省東京第一土木出張所・稲荷川工場が設置され直轄事業として改修事業に入りました。 大谷川床固群は、安全な流れをつくるため、曲がりくねった川を真っすぐにして、川の流れを安定させ、大雨時などに水があふれないようにするとともに、川岸や川底の土砂が削られるのを防ぎます。また、近年では周辺の住民が川に親しめるような安らぎの空間を創り、魚など環境に配慮した魚道の設置も行っています。 大谷川流域には、日光東照宮などの二社一寺の世界遺産があり、砂防施設はそれらを守る重要な役割を担っています。 【参考】河川敷の利用については、治水・利水・環境との調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、計画的に整備され、県や自治体が河川敷を占用し、公園等を設置しています。これら整備された区域については、関係自治体や住民の方々との協働により適正に維持されています。

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
8	60歳以上	男性	茨城県	取手市	<p>私は取手の利根川沿岸に住んでいます。利根川の流域の広さや直線化などの特性もあり洪水が年に数回は河川敷が水をかぶる。小貝川や鬼怒川の下流では台地が河川に接近し河川敷が狭かったり、曲線の部分が多かったり、堤防内の低地（水田・畑・住宅など）が広がっている。小貝川や鬼怒川の上流から下流までの河川と台地と低地などの特性や沿岸の暮している人間の生活などの相違を紹介してほしい。これによって沿岸によって（川の影響）どのような変化があるのか知りたい。</p>	<p>昭和61年8月洪水を契機に、鬼怒川・小貝川流域の自治体・県・国土交通省において、両河川の河川空間と水環境について意見を交換し、その適正な保全と利用を図るとともに、両川を介した地域の交流を促進することによって、流域の好ましい地域づくりを進めることを目的に設立した鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として、流域の自然・文化・歴史等のとりまとめを行っています。</p> <p>具体的には、鬼怒川・小貝川読本編集会議、編集委員会が編集した「鬼怒川 小貝川 自然 文化 歴史」、鬼怒川・小貝川流域を語る会（「水利用読本」編集会）が編集した「鬼怒川・小貝川 水と暮らし」等が図書館、小学校等に寄贈されているので参考にしてください。</p> <p>なお、流域の河川整備計画策定に当たっては、河川や地域の歴史文化・特性を十分考慮します。また、河川の特長や沿岸のくらしの相違などについては、下館河川事務所が発行する「流域情報誌Rio」やホームページ等さまざまな手段により積極的な広報に努めていきます。</p>
9	40代	男性	茨城県	下妻市	<p>取り組んでほしいこと 下妻市前河原地区に無堤防の所がありますが、山つき堤という話ですが中には集落があり人家の庭先に計画高水位があり大変不安な毎日をご過ごしています。 ぜひ、しっかりとした堤防を作っていただきたいと思ひます。 被害が出る前をお願いします。</p> <p>そして整備するときは、水遊びのできる水辺を作っていただきたい。</p>	<p>当該地区の地盤高は、堤防の設計水位である計画高水位より僅かに低くなっています。堤防の整備に当たっては、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施していきます。</p> <p>なお、実施する際には自然との調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、河川へのアクセス手段の整備等を必要に応じて実施します。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
10	60歳以上	男性	東京都	北区	<p>鬼怒川・小貝川河川整備計画は利根川流域圏における将来の治山、治水、利水、環境と流域の皆様方の考えを留意して、最終的に川づくりの専門家の方々に河川法に基づいた河川整備計画を願っております。</p> <p>生態系に留意した更なる河川整備の推進として、川原に咲く草花（カワラノギクなど）花から花へ飛びかう蝶や昆虫、そして木々の枝先で歌う野鳥、川を旅する山から海へと生息する魚たち、これらの生物が生活できうる川づくりを願うものです。</p>	<p>「河川整備計画」を策定するにあたり、今回伺った関係住民の意見のみでなく、関係自治体、学識経験者からの意見聴取を実施することとしています。より多くの関係する誰もが意見を述べる事が出来る方法として、インターネットやはがきなどによる意見募集、住民の皆様のご意見を伺う場の開催などをこれからも繰り返すことにしています。</p> <p>鬼怒川・小貝川には豊かな自然が残っています。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、動植物の生息・生育環境の保全にも十分配慮していきます。鬼怒川における礫河原や小貝川における湿性環境などそれぞれの河川の特徴を保全・再生する取り組みも実施します。</p>
11	60歳以上	男性	茨城県	筑西市	<p>1. 車輛通行止めの除去 通行が多くなれば不法投棄が少なくなる</p> <p>2. 河川パトロールは定時ではなく朝、日中、夜の適当な時間に行う 公務員が出来なければ民間に委託する。民間ならばやります。</p> <p>3. パトロールは二人は不用である。税金の無駄である。民間ならば一人でやる。</p> <p>4. 河川敷を整備し公園にして駐車スペースを確保し一般に開放する。</p>	<p>①堤防の上は、日常の河川巡視や洪水時の水防活動などの河川管理を行うための管理用通路であり、地域に残された貴重なオープンスペースとして散策やウォーキング等で使用する人々もおり、原則的に車両通行止めを設置して一般車両等の進入を制限しています。</p> <p>また、このように車両の進入を制限していることにより、河川への悪質な不法投棄の防止の効果をも期待されます。</p> <p>なお、他に生活用道路が確保できない等の事情により場所によっては県道、市道、町道との兼用道路として利用されている箇所もあります。</p> <p>②河川パトロールは、河川区域等における不法行為の発見、河川管理施設及び許可工作物の維持状況の確認、河川空間の利用に関する情報収集、河川の自然環境に関する日々の情報収集等を目的として実施しているため、通常明るい時間に実施しています。なお、休日の巡視は実施しています。</p> <p>河川巡視は、堤防、水門などの防災上重要な構造物の異常発見や点検を行う業務であり、河川法並びに河川管理や構造物に関する専門的な知識と経験を有する者でなければなりません。</p> <p>このため、これらの要件を満たす民間の委託者が、河川巡視を行っております。</p> <p>③河川巡視では、川表（堤防上から見て、川が流れている側）及び川裏（堤防から見て、川が流れていない側）の両側を確認するため、運転を行いながらの巡視では脇見運転となり危険を伴います。また、鬼怒川及び小貝川は延長が長く、川幅も広く確認項目も多い他、徒歩による巡視が必要な箇所もあり、車両運転手1名及び河川巡視員1名の2名体制で実施しています。</p> <p>④平常時の河川空間は、地域に残された貴重な水と緑のオープンスペースであり、スポーツやレクリエーションなど地域の様々な活動の場としてのニーズもあります。</p> <p>公園などの利便性を図るための駐車場については、施設管理者の管理の元、占用されているところでもあります。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
12	不明	女性	栃木県	二宮町	寒さ厳しき折柄ですが、皆様ご清栄のことと推察いたします。さて鬼怒川も国交省の方々のご尽力により整備され感謝申し上げます。ただ毎年実施されておりました芝焼きが実施されず心配です。不審火や不侵者防止のうえからもぜひ雑草をきれいにさせていただきお願い申し上げます。大変でしょうがその点ご高配の上尽力していただきたく切にお願い申し上げます。	河川堤防の除草については、堤防の保護、異常の早期発見、河川景観の向上、ゴミの不法投棄の抑止等を目的として、定期的を実施しています。また、河川巡視による不法投棄の監視、野火の延焼防止を目的として、一部高水敷も除草等を実施しています。なお、河川敷の野焼きについては、関係市町村が主体となり消防等と連携し、病害虫の一斉撲滅や河川の火災防止、ゴミの不法投棄の防止を目的に、一部地域で実施しているところです。
13	50代	男性	茨城県	筑西市	1. 堤防の通行を自由にして欲しい。税金で整備したものです。 2. 河川敷にホソや池を作り釣堀公園を望む 3. 堤防の緑化事業の推進	①堤防の上は、日常の河川巡視や洪水時の水防活動などの河川管理を行うための管理用通路であり、地域に残された貴重なオープンスペースとして散策やウォーキング等で使用する人々もおり、原則的に車両通行止めを設置して一般車両等の進入を制限しています。また、このように車両の進入を制限していることにより、河川への悪質な不法投棄の防止の効果をも期待されます。なお、他に生活用道路が確保できない等の事情により場所によっては県道、市道、町道との兼用道路として利用されている箇所もあります。 ②平常時の河川空間は、地域に残された貴重な水と緑のオープンスペースであり、スポーツやレクリエーションなど地域の様々な活動の場としてのニーズもあります。 ③台風時の強風による堤防上の樹木の倒伏や堤防の崩壊等の過去の災害経験を通じて、現在では、河川区域内における樹木の植樹については基準が定められており、堤防上の植樹は原則として禁止していますが、自治体の計画等を踏まえ、治水上必要な堤防の形状を確保し、更に盛土を行った場所への植樹は認められています。この場合、自治体が必要な用地を確保し、河川管理者と協働で植栽のための事業を実施することとなります。

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
14	50代	男性	茨城県	竜ヶ崎市	<p>大変お世話になりましたありがとうございます。</p> <p>①岡堰土地改良区に勤務しているものですが、ご承知のように小貝川の水不足により、代かき田植期に上流の福岡堰を水が残さなくなります。支流の八間堀川に石洗堰が復活し、小貝川に流し込んで凌いでいますが、鬼怒川と小貝川を分けてから、まん性的に水不足となっていたものです。下流の工業用水・農業用水の補充に寺畑あたりから鬼怒川の水を導水する事をお願いします。</p>	<p>鬼怒川・小貝川とも、度々渇水に見舞われていますが、特に小貝川については、独自のダム施設を持っていないため、水量確保に苦慮している状況であると認識しています。このため、渇水時の対策が必要となった場合には、関係利水者等開催し、関係利水者による円滑な渇水調整が行われるように必要な情報の提供に努めます。</p> <p>また、小貝川における必要な流量については、今後調査検討を行っていきます。</p>
					<p>②子どもの頃は小貝川で泳ぎ、ヤマベ、雑魚、シジミが沢山採れました。川辺の整備と併せて魚介類を大量に呼びもどす活動をすすめていきたいと存じます。</p> <p>そして農産物も良質なものにしていくために岡堰土地改良区ではEM(有用微生物群)を活用した活動をはじめています。ご指導とご協力についてよろしくをお願いします。</p>	<p>河川事業については、特に生物の良好な生育環境に配慮し、併せて美しい自然景観を保全あるいは創出する目的で、平成2年から本格的に「多自然川づくり」を推進しているところです。今後とも、鬼怒川・小貝川の生物環境および自然景観の保全や創出を図る必要な対策を推進していきます。</p> <p>また、流域自治体や市民団体などによる水質浄化や美しい自然景観を保全あるいは創出する取り組みが、流域各所で行われています。今後とも水質浄化や自然環境の保全・創出にご協力ください。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>③岡堰が平成8年に竣工し、全門開放式の堰になりました。旧跡より流下量も大きくなり、下流部の堤防を強化することが大切な事と思っておりますので、よろしく願います。</p>	<p>洪水時の小貝川下流部については、流量の増大のほか利根川本川の水位の影響を受け、洪水の継続時間が長くなるといった特徴があります。このため、下流部の洪水対策としては、堤防の高上げや拡築および強化等の整備が重要であると考えています。</p> <p>現在の堤防は過去から拡築、補修の繰り返しにより築かれてきたため、材料の品質が均一であるとは限らないため、場所によっては浸透に対する安全性が低い区間が存在しています。</p> <p>このため、堤防の浸透に対する点検を実施し、平成19年3月末に完了しました。結果については、記者発表を行ったほか下館河川事務所のホームページでも公表しています。</p>
					<p>①③に関わりますが、昨年8月頃岡堰の上に藻が流入し「油が流れている」という情報がありました。堰の上に藻が発生すると、水が酸素不足になるそうです。酸素を発生しないミドリムシ類の繁殖ではないか。今年は用水期に入り堰を止めたら観察したいと思っています。工業生産、農業生産のためにも良い水にしたいものです。</p>	<p>有害物質等の河川への流入は、利水のみならず環境への影響も懸念されることから今後とも河川監視や地域からの情報収集により、水質事故等の際の迅速な対応に努めていきます。なお、関東地方水質汚濁対策連絡協議会利根川部会を都県政令市等の関係機関と構成し、水質全般について連絡調整を図るとともに、水質事故の発生時には迅速な情報連絡、汚濁物質の拡散防止対策、水質試験などを行っています。</p> <p>また、流域自治体や市民団体などによる水質浄化への取り組みが、流域各所で行われています。今後とも水質浄化にご協力ください。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
15	20代	男性	茨城県	下妻市	<p>○私は職業柄河川等の水位の上昇を調べる事が多く真岡の真下～嘉家佐和迄の河川敷(土手道)に行くのですが砂利敷の施工の際車が回しづらい様に土手を狭くされた所が多く、私の他地元の通行者等も車を土手に落としそうになる事が多くみられました。今後整備の際には国の土地とは存じてますが、地元等の環境に合った方式で土手敷や施設の改修をお願いします。</p> <p>○河川について 釣りやバーベキュー等、又は各自自治体で花の移植をしている所がありますが、親水の観点から〇〇の河原はバーベキューに適しているとか△△の川は菜の花が毎年咲いてキレイ等を周知するパンフレットとかマップ等を国交省のHPで公開してはどうでしょうか？ 又逆に中洲で取り残されるバカ共についてもこれを公開する事によって危険な所でバーベキューをしなくなるのではないかと思います。</p>	<p>堤防は土で築造されているため、将来の沈下を見込み計画の高さより高く施工します。このため、限られた用地の中で堤防の安全性にも配慮しつつ施工するため、やむを得ず堤防の上面が狭くなることもありますので、ご理解を頂きたいと思えます。</p> <p>なお、堤防の上は日常の河川巡視や洪水時の水防活動などの河川管理を行うための管理用の通路であり、原則的に一般車両等の進入を制限しています。</p> <p>ただし、場所によっては他に生活用道路が確保できない等の事情により県道、市道、町道との兼用道路として利用されている箇所もあり、その場合は、道路管理者がその道路規格に応じて幅の拡幅等を行っている例もあります。</p> <p>鬼怒川・小貝川流域の公園等施設やイベントなどについては、下館河川事務所のホームページ(<a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate">http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate</a>)や鬼怒川・小貝川の堤防に設置されている「川辺情報板」(下館河川事務所管内に56箇所、主に一里塚等)でご案内しています。</p> <p>また、下館河川事務所が発行する「流域情報誌Rio」などにおいても紹介しております。「流域情報誌Rio」は、流域自治体の庁舎、図書館、道の駅などに置かれております。</p> <p>なお、河川利用時における安全確保については携帯電話やインターネットによる水位情報の提供や川の安全利用に関するパンフレットなどにより啓発を促しています。</p> <p>今後もこれらのメディアを通じ、積極的に広報していきます。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>○上に書いた自治体の取り組みの花の移植の他にも自ら河川をキレイにしている人がいると思いますのでその様な方に対して、何か協力する補助をお考え下さい。</p>	<p>鬼怒川・小貝川では、自治会を始め多くのNPO、学校、企業およびボランティア団体等で清掃活動を行っています。下館河川事務所では、平成14年からこのような地域住民が行う環境美化活動を河川管理者と自治体が支援する仕組みとして「市民と協働で行う河川環境管理」の取り組みを進めています。具体的な役割分担としては、地域住民（自治会、愛護団体、NPO、ボランティアグループ、学校、企業、同好会などで10人以上のグループ）が「清掃・除草」「花壇の整備・管理」などを行い、河川管理者が「清掃用具の提供および貸し出し」「活動実施者を紹介する掲示」を行い、協力者（市町村）が「収集ゴミの運搬・処理」を行っています。</p> <p>また、昭和61年8月洪水を契機に、鬼怒川・小貝川流域の自治体・県・国土交通省において、両河川の河川空間と水環境について意見を交換し、その適正な保全と利用を図るとともに、両川を介した地域の交流を促進することによって、流域の好ましい地域づくりを進めることを目的に設立した鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施している鬼怒川・小貝川クリーン大作戦においてゴミ袋、軍手などの清掃用具を提供しています。</p> <p>この他、自治体からの推薦された河川の美化や河川環境の保全、環境教育など河川愛護に関して顕著な功績があり、継続的に活動を続けている団体・個人に対し、河川愛護功労者の表彰を行っています。</p>
16	60歳以上	男性	茨城県	竜ヶ崎市	<p>小貝川・鬼怒川という限定したことなく利根川水系全体について一つの提案をさせていただきます。</p> <p>明治・大正時代にくらべて、水道水などの水利用が増加し平水位が低下していると思いますが、水運の再生を計ることで、河道の整備、船着場の整備、また、現在の堤防をスーパー堤防、超スーパー堤防に整備、そこに流通拠点をも有効的に配置する。</p> <p>これにアクセス道路の整備することにより小割の輸送がスムーズにいくように水運と自動車輸送の新しい流通システムの確立を計る。</p> <p>現在のように、自動車による物流だけにたよることは、石油資源の有限性、排ガスによる大気汚染、地球温暖化などいろいろな問題が起きています。</p> <p>このような問題を解決する上においても、海運と河川利用の運輸、有機的な運用すべきと思います。</p> <p>このことはまた、治水にも寄与するものと考えます。</p> <p>追伸、いつも、いろいろな資料、情報の提供いただきありがとうございます。</p>	<p>利根川及び江戸川では、地震等発生時の緊急時に、緊急用物資の輸送や、地震等により河川管理施設が被災した場合の復旧工事及び沿川地域の避難者救済活動を円滑に行うため、緊急用河川敷道路を整備するとともに、緊急用船着場を整備します。また、緊急時の航路確保のために必要に応じて浚渫を行います。</p> <p>一方、鬼怒川においては、かつて舟運が物流の大動脈を担っていました。現在、鬼怒川・小貝川においては、河川や流域の特徴として大規模な流通システムとしての利用は難しいものの、舟運の文化を伝える等、鬼怒川や小貝川の歴史、地域の文化にも配慮した河川整備を進めていきます。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
17	60歳以上	男性	茨城県	下妻市	<p>農業用水確保の堰の形状から環境の優先順位を上げた構築へ</p> <p>現状の堰を調べると農業用水を確保する目的でほとんどが構築されているように思える。</p> <p>環境にやさしい、人間にも魚にも対応出来る堰の再構築を望みたい。 4年程前から栃木県の五行川大前の堰で鮭の遡上が確認されてから真岡市内で鮭の稚魚放流が民間の力で開始されたが、市民が河川的环境改善に黙っていても協力することになっているようだ。 鮭が遡上した時の話として、下流側の堰が改修され鮭が遡上出来る条件になったからだと関係者からの発言があった。</p>	<p>太古より小貝川では取水のための堰が築かれ、地域の稲作を支えてきたことにより、流域の産業や文化の発達も成り立っております。しかしながら、これらの堰の一部には魚類の遡上、降下に支障をきたしているものもあります。国土交通省では河口から上流まで魚類の遡上・降下環境の改善を図る方針であり、必要に応じ調査及び検討を行い魚道の設置や機能改善等に努めていきます。</p> <p>また、取水堰等の占用許可工作物については、施設管理者と調整し、機能調査を行うとともに必要に応じて魚類の遡上・降下環境の改善の調整を図ります。</p> <p>なお、小貝川における必要な流量については今後調査検討を行っていきます。</p> <p>ご指摘のあった河川を横断している杭については、高道祖(たかさい)樋管の用水取り入れのために設置された施設です。</p> <p>現在は、必要のない施設であるため、高道祖(たかさい)樋管の管理者に対し、出水期前の施設点検時に撤去するよう指導を行っています。</p>
					<p>下妻市内を流れる小貝川のふれあい公園には横断して丸太の杭が打つてある。 増水後を見ると多量のゴミがひっかかるのと、水没時のボート事故もあるだろう。田んぼ時期だけの水引き込み構築物なら他の方法はないのか 例えば半分だけでも撤去とかならないか。</p> <p>河川への家庭排水の直接放流状況を調べてその改善を進める。</p> <p>河川の水質が悪化していることは流域住民も、うすうす知っていても、下水道整備が進んでいない地域の住民には台所等の小さい排水改善は出来ても、下水溝が直接河川に流れ込んでいる現状は行政の行動でしか改善出来ないだろう。</p> <p>地方行政のお財布が大変なもの分かるが直接流れ込む下水溝だけでも改善出来ないかと提案する。</p> <p>下流では上流からの水の流れを受け入れるしかなく川の流れに行政の市町村境の区切りは無く、未来につなごう鬼怒川・小貝川の考えはあっても、この水を浄化して生活する子供たちに未来がつなべるのか不安を除く水の流れ改革をのぞむ。</p>	

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>ブルーギルの実態・生態一斉調査を。</p> <p>鬼怒川・小貝川で釣りをすると、生餌で（ミミズ・サシ）ブルーギルが釣れる。</p> <p>昨年鬼怒川の下妻市北限平方で30cm程の大きなブルーギルを釣り上げた。</p> <p>この時の魚の色はブルーではなく黒味の褐色であった。</p> <p>下妻のふれあい公園下の小貝川でも生餌で10cm程のブルーギルが短時間に何匹も釣れた。</p> <p>栃木県の小貝川上流の市貝町でも小さいブルーギルが釣れていると聞いた。（河川コーディネーターの話）</p> <p>これでは鬼怒川・小貝川のブルーギルマップが出来そうだ。</p> <p>小魚の減少が空からの鵜であると決め付けていると、水中のブルーギルにやられてしまう。</p> <p>昨年決めたと思われる釣れたブルーギルは再放流禁止と言っているが、土浦港の岸壁には釣り時期になると釣り上げたブルーギルがコンクリーに放置されくさって異臭をはなっている。“自体”を知らないでたゞ規制を提案しただけに思える。一斉釣り大会的調査をしてブルーギルの実態を知って減少させる行動開始を。</p>	<p>河川に生息・生育する動植物については、その種類や個体数等について定期的に調査を行っています。在来生物群集及び生態系への影響を指摘されるブルーギルのような特定外来生物については、本来の河川の生態系の保全を図るためにも、河川管理者としてその対応等については関係機関と連携して検討を行っていく必要があると認識しています。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
18	60歳以 上	男性	茨城県	取手市	<p>最近の河の状況はあまり良い状態ではありません。水質の悪化・河川敷にはゴミの不法投棄等環境によくありません。毎年鬼怒川小貝川クリーン作戦に地域の人々と参加しておりますが少しもゴミは減りません。</p>	<p>河川の汚濁対策につきましては、下水道事業等の関係機関と連携し流入する汚濁負荷量の削減に流域が一体となって努めるとともに、関係機関が、役割に応じた水質改善対策を実施していくことが必要です。 また、河川の水質の現況把握については、継続的に実施し、水質の変化について監視していきます。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを自治体と連携し、推進しています。今後とも河川美化にご協力をお願いします。</p>
					<p>川辺に自然環境・きれいな水を取り戻したいと願っております。 小貝川漁協組合も、会員の高令化と脱退者の増加ときびしい状態です。できれば昔の川に親しみきれいな水と元気な魚と釣を楽しむ心の洗たくをし毎日元気に充日した日々を過ごせたらと考えています。</p>	<p>鬼怒川・小貝川には豊かな自然が残っております。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、動植物の生息・生育環境の保全にも十分配慮していきます。 また、流域自治体や市民団体などによる水質浄化への取り組みが、流域各所で行われております。今後とも水質浄化にご協力ください。</p>
					<p>国土交通省の高官の人をお願いしたいのですが岡堰の上流には夏になると水上バイクの若者が多数します。 釣り人もあれが来て荒波を立て、全々釣れず帰ります。水上バイクもレジャー釣り人もレジャーですなんとか良い状態を作りたいのですが土手からスロープにて水辺にポート卸し朝から夕方迄楽しんで行く様ですが川本来の治水水環境と良い方に進んでいければ良いのです。 私は、大人の人にゴミは捨てるなど云っても思い通りなりません。小学校の子供達を川辺に呼んで水の大切さや自然環境の大切さを3～4年生を対象に指導してます。</p>	<p>河川水面の利用については、原則、自由使用となっておりますが、自然の保全と他の利用者の妨げにならないなど秩序ある利用を前提としています。そのため、看板等を設置し利用上のマナーの周知に努めています。 また、国土交通省としても流域内で行われている自治体と連携した各種イベントなどに参加したり、小学校などに「出前講座」を通じて、自然環境・河川の水質などに関する大切さ・必要性等の説明を積極的に行っていますので、今後ともご協力よろしくをお願いします。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
19	60歳以上	男性	栃木県	河内町	<p>1 鬼怒川流域全体 以前鬼怒川が河川ランキング日本一になった記事を見たことがあります。河川に親しみ・河川敷地利用などが優れていた結果と思えますし、当時の工事事務所のご努力の賜物とも感じるしだいです。 鬼怒川は流域の市町において、最後の残された自然の大きな空間と私は認識していますので、河川敷の利用対応を河川法では取り組めない、鬼怒川独自の対応マニュアルの策定を望むものです、例えば、漁協組合と連携し釣り許可券発行の際、その期間はゴミ遵守員の資格を与えることにより、本人からゴミ放棄が出来ないようにするなど</p>	<p>良好な河川環境を保全するため、空間管理の目標を定め、目標に基づいた適切な管理を行い、地域と一体となった自然環境の維持と保全を図ります。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを自治体と連携し、推進しています。今後とも河川美化にご協力をお願いします。</p>
					<p>大雨が降ると古老の口癖は、昔ならこんなに降れば大水になり、堤防決壊も心配したのにな、という言葉が聞かれます、上流のダムのお陰との認識はありますが、行動で感謝するまでには至らない、先祖のお墓まで湖底に沈んだ立ち退いた住民への意識が低いものから来るものと思えますので、立ち退き住民が誇りにもてて、下流住民が常に感謝しながら河川敷き等の利用がされる継続的施策を策定願います。</p>	<p>河川は、源流から河口までその延長が長く、各々の地区で実施している河川事業については、その効果が沿川の方々の日常生活の中でわかりづらいとの指摘もあります。そのため、自治体相互による上下流交流事業やダム湖等において森と湖に親しむ機会を提供することによって、森林やダム湖の持っている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割等を理解していただくことを目的に「森と湖に親しむ旬間(じゅんかん)」などが行われているところです。今後もより広く多くの方々にわかりやすい手法で河川事業の効果について周知を行うことが重要であると考えております。</p>
					<p>環境と親水 1 鬼怒川流域全体 河川に親しみ・河川敷地利用者が増加することにより、人の目が届きゴミの放置も少なくなるのではと感じる次第です。 それには、水質が綺麗で魚が泳ぎ、川の中まで入れる環境が必要と思えます。</p>	<p>治水・利水・環境自然との調和を図りつつ、多くの方々が安全に水辺に親しんでいただけるよう拠点として計画的に水辺プラザ・水辺の楽校などの整備を進めています。整備にあたっては、流域のニーズや自治体の計画をふまえるとともにユニバーサルデザインに配慮した河川へのアクセス手段の整備を実施します。 河川の汚濁対策につきましては、下水道事業等の関係機関と連携し流入する汚濁負荷量の削減に流域が一体となって努めるとともに、関係機関が役割に応じた水質改善対策を実施していくことが必要です。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>その一例として、是非農水省の計画と整合性を図り、3つの頭首工の魚道整備計画を策定下さい、上流でカジカとサケの魚影が観察できたら住民は河川に注目し、人が戻ってくると思います。</p>	<p>鬼怒川には、頭首工による農業用水の確保や床止めによる河床高の維持が図られておりますが、一部にはこのような横断工作物により上流と下流で段差が生じており、魚類の遡上・降下に支障をきたしているものもあります。国土交通省では、河口から上流まで魚類の遡上・降下環境の改善を図る方針であり、鬼怒川についてもこれまで横断工作物に魚道を整備するなど、下流から計画的に取り組んできています。今後とも、支障となる河川横断構造物についての調査を行い、魚道の改良や新設などを行います。</p> <p>また、魚類の遡上・降下の支障となる取水堰等の占用許可工作物については、施設管理者と調整していきます。</p>
					<p>利水 1 鬼怒川は川で無い時期がある。 川とは、水が流れている窪みを指すものと認識したとき、鬼怒川は川とは言えない時期がある、その時期は、農業用水が一番使われる時期や冬の雪不足、湧水などにより水が無くなる期間が見られます、その期間の時期はどのような変遷なのか計画に表示し、多目的、広域的観点から水量計画策定を願いたい。また、鬼怒川の水利用は94.5%が農業用水として利用され、五行川などで反復利用され、小貝川の流れにも関係しているのは、旧河道が影響しているものと思いますので、旧河川の水脈調査を実施し、水確保の原点に注目した計画策定ができないか検討願いたい。 また、上流ダムの相互連携を強化して、維持流量の確保対策を網羅願いたい。</p>	<p>鬼怒川の必要流量については、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設や建設中の湯西川ダムにより、その確保に努めていく必要があります。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>治水と堤防 1 鬼怒川流域全体 鬼怒川の河道は、上流部にあつては、川幅が広く流下能力も有り、堤防も概ね完成しているが、下流においては、川幅が狭く、堤防高・断面不足箇所が集中しており、その上築50年を経過した樋管が多くある現状を踏まえ、堤防の内部構造調査結果をいち早く分析し、浸透に対する安全性の低い区間を、流域住民に認識させ、早急な且つ集中的に工事予算を確保して対策に取り組める施策を計画的に策定願いたい。</p> <p>2 鬼怒川流域上流 未整備区間と暫定区間が両堤防に現存する上平橋周辺の築堤を計画期間初期に完了するよう策定願いたい。H14に河岸浸食した箇所がいまだに補修されない現実を見ると計画倒れと言われたい政策を望む。</p> <p>3 鬼怒川流域下流 樋管の計画的改修と未整備区間と暫定区間が両堤防に多く現存するので、流域住民の財産を守る観点からも、実施計画の重点取り組を期待したい。</p>	<p>鬼怒川においては、ご意見のとおり堤防の未整備箇所や堤防の高さや幅が足りない暫定区間が数多く残っています。また、現在の堤防は過去から拡築、補修の繰り返しにより築かれてきたため、材料の品質が均一であるとは限らないため、場所によっては浸透に対する安全性が低い区間が存在しています。</p> <p>このため、堤防の浸透に対する点検を実施し、平成19年3月末に完了しました。結果については、記者発表を行ったほか下館河川事務所のホームページでも公表しています。</p> <p>さらに、築後50年を経過した排水樋管も多く残されているほか、河岸浸食等に関しても、監視や対策が必要な状況です。</p> <p>堤防の未整備箇所や暫定区間、安全性が低下している区間につきましては、堤防の整備や嵩上げ、拡築等の必要な対策を実施します。</p> <p>また、排水樋管等については、平常時の巡視や定期的な点検などにより必要な対策等を行い、今後も適正な管理を行ってまいります。</p> <p>対策の実施に当たっては、河川全体の治水安全度のバランスを考慮しつつ必要な箇所から実施してまいります。</p>
20	60歳以上	女性	栃木県	宇都宮市	<p>私は石井鬼怒川西に住んでいます。毎日の様に土手を散歩しながら清らかな川の流れ、四季折々の野の花、小鳥のさえずるのどかなこの自然の環境に満足しております。しかし年と共に足腰が弱って歩いてもふっと休みたくなりますがどこを見ても椅子がないのには困ります。大谷石でも、廃材の丸太でも河川のあちこちに整備して頂けたら今以上にふれ合の場となるように思います。お金も余りかからないと思いでよろしくお願ひ申し上げます。空地の利用も高令化向き子供向きに利用して下さい。</p>	<p>平常時の河川は、散策等、他の利用者の妨げにならないことを前提として自由に利用出来る場所ですが、一方で土手の上は日常の河川巡視や洪水時の水防活動などの河川管理を行うための管理用通路であり、通行の支障となる施設や洪水時に堤防の機能に支障を与える構造物の設置は難しい状況です。このため、治水上必要な堤防の形状より堤防を広げて整備を行い平常時は休憩場所、非常時は水防活動拠点や水防用資材として土砂等の採取場となる「川の一里塚」や桜づつみなどを地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、設置を推進してまいります。</p> <p>この他、緊急車両等の通行の妨げとならない構造の休憩施設などの検討を行ってまいります。また、身障者やお年寄りから小さな子供までが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した河川空間の整備を実施します。</p> <p>なお、休憩所に設置するベンチなどには、河道の流下能力向上対策や河川管理上支障があり伐採した樹木を有効利用したいと考えています。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
21	60歳以上	男性	茨城県	取手市	<p>最近では犬を散歩させる人が多くなってきております。糞の処理について一言申し上げます。</p> <p>糞を処理する際、堤防に穴を掘り埋めたり、糞の上に堤防の土を掘って掛けたりするのをよく見かけますが、堤防への影響は無いのですか？土を掘ったまま穴が開いた状態や穴の中に糞を入れ埋めた場合土が柔らかくなり、強度が落ちるような気になります。さらに、散歩（運動不足の解消のため）する際、そこそこに糞が落ちてたり美観を掻い、気持ちのいいものではありません。約1km（？）位の間際に掲示板がり、そこには「糞は飼い主が処理するように」のみの注意書きでまったく効果は無いように感じます。そこで</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.糞は持ち帰るよう徹底した宣伝（立て札）を増やす。チラシをスーパー等人の集まる所に配る。</li> <li>2.監視（巡回）の回数を増やし注意を促すと同時に糞回集を行い認識を高める。</li> <li>3.適度な間隔にドッグランを作りそこに糞を集め処理する。</li> </ol> <p>人家前の土手に糞がそのままの状態が多く不快感極まりません。以上よろしくお願ひします。</p>	<p>河川敷の利用については、原則、自由使用となっておりますが、自然の保全と他の利用者の妨げにならないなど秩序ある利用を前提としています。そのため、看板等を設置し利用上のマナーの周知に努めています。また、日常の巡視等においても注意喚起を行っています。</p>
22	60歳以上	男性	茨城県	筑西市	<p>小貝川常総平野を「うるおす」川も一度増水すれば多数の人達の陰の力に支いられて、氾濫等を防いで居ます。これからの小貝川は昔の子供の頃のように川岸で泳げる川にすること、と、タナゴ、や砂むぐりの居た美しいきれいな川に成る様我々が努力して行く必要が有る。支流の河川堰を管理していて、粗大ゴミや産業破棄物の流入が大変多く川に投棄される。30年代～40年代頃からか川の重要性を忘れてしまった現代人常日頃の教育が大切だと思う 国を愛する町や村を愛するその郷土を愛する小川や川を愛するすべて教育が必要かと思ひます。</p>	<p>河川事業については、特に生物の良好な生育環境に配慮し、併せて美しい自然景観を保全あるいは創出する目的で、平成2年から本格的に「多自然川づくり」を推進しているところであり、今後とも、必要な対策を推進していきます。</p> <p>また、流域自治体や市民団体などによる水質浄化への取り組みが、流域各所で行われているほか、今後とも学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川を活用した環境教育や水防学校などの防災教育の支援も行います。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
23	60歳以上	男性	茨城県	つくばみらい市	<p>水の見える風景は心が安らぎます。折角、川の近くに住んでいても、川に近づくことが難しい状況ではもたない。是非、鬼怒川の堤防沿いに遊歩道を整備してほしい。小貝川のように。</p> <p>日々の散歩にとても良いコースになるでしょう。滝下橋から上流方向を見ると、いつも良い景色だと思うが、ゆれる橋上からの眺めでは落着きません。遊歩道からゆっくり眺められればとてもぜひ沢な気分になれるでしょう。</p> <p>下流から上流まで長い長い遊歩道ができればウォーキング大会もできるでしょう。</p> <p>折角の自然資源を有効に活用したいものです。</p>	<p>鬼怒川・小貝川には豊かな自然が残っております。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、動植物の生息・生育環境の保全にも十分配慮していきます。流域の歴史及び文化等に地域特性もふまえて治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれの目標の調和を図りつつ、地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備に努めていきます。</p> <p>鬼怒川においては一例として、栃木県により鬼怒川自転車道（県道二宮宇都宮自転車道線）が整備・運営され、鬼怒川の景色などを楽しむサイクリングや散策にご利用頂いています。</p>
24	60歳以上	男性	茨城県	筑西市	<p>パトロールについて</p> <p>①定時ではなく、1日1回で良いから、朝、昼、夜の実施、不法投棄をなくす。</p> <p>②高額車輛の必要はない。軽車輛で充分</p> <p>③2人の必要はない</p> <p>④河川パトロール委託車（名称は適当に考える）等のステッカー等を作成し釣り愛好者に依頼。ボランティアの育成</p> <p>以上公務員で出来なければ民間に委託する。</p>	<p>①河川パトロールは、河川区域等における不法行為の発見、河川管理施設及び許可工作物の維持状況の確認、河川空間の利用に関する情報収集、河川の自然環境に関する日々の情報収集等を目的として実施しているため、通常明るい時間に実施しています。なお、休日の巡視は実施しています。</p> <p>②河川パトロールカーに関して貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>河川パトロールカーは、平常時の河川巡視以外に、災害時（洪水や地震等）に道路の無いような場所での作業や状況把握などに使用します。そのため、周囲の視認性が高いこと、出水時等にぬかるんだり荒れた高水敷を走行するため悪路の走破性が良いこと、資機材等の輸送のため乗車定員や積載容量が確保できることなどが必要になり、これらの要件を満たした車両の内、最も安価な車両を導入していますのでご理解下さい。</p> <p>③河川巡視では、川表（堤防上から見て、川が流れている側）及び川裏（堤防上から見て、川が流れていない側）の両側を確認するため、運転を行いながらの巡視では脇見運転となり危険を伴います。また、鬼怒川及び小貝川は延長が長く、川幅も広く確認項目も多い他、徒歩による巡視が必要な箇所もあり、車両運転手1名及び河川巡視員1名の2名体制で実施しています。</p> <p>④河川巡視は、堤防、水門などの防災上重要な構造物の異常発見や点検を行う業務であり、河川法並びに河川管理や構造物に関する専門的な知識と経験を有する者でなければなりません。このため、これらの要件を満たす民間の委託者が、河川巡視を行っております。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
25	60歳以上	男性	栃木県	宇都宮市	<p>総論 鬼怒川の自然を生かし、河原、草原、林（木立ち）変化に富んだ流れ、点在する水たまり（池）、全体を視野に入れた自然環境を満喫できるような河川づくりを望みたい。 私は毎日のように柳田地区の河原を散歩し鬼怒の自然に親しんでおります。それだけに年々川の流れが貧相になって寂しい思いをしております。</p> <p>各論 ①豊かな川づくり。 最近、橋などの工事が原因で柳田-石井地区の流れは砂利の流入で浅瀬が多くなり、魚が滞留する深場がなくなった。四季を通じ魚がすめるような深場、いわゆるトロ場が必要と思われます。 急流からトロ場、かくれ場所、と変化に富んだ川、これが鬼怒川の特徴だと思います。鵜の被害防止にもなり、魚を増やすのに必要な改修策を望みます。</p> <p>②自然保護区を広範囲に設定して鳥類が数多く飛来する流域作りも必要です。保護区を増やすことで一般の感心も高まり、ゴミの不法投棄もなくなるのではないかと。</p> <p>柳田地区の改修工事について要望。 柳田地区でブロックを引き揚げて流れの改修工事を行っています。従来のように魚の住めるような改修を考えて欲しい。従来は、魚がブロックに保護されて住みつき、群を作っていました。冬場、釣り人にとって付近では唯一の釣り場としてにぎわっていました。 岡本から石井地区の間には、こうした魚影の見える場所がなく、川は死んだようなものです。 災害から守るための工事は必要ですが、工事と合わせ、魚の住める豊かな川づくりに配慮していただきたいとします。近年、漁業組合の活動は停滞し、魚の放流もなくなり、組合員は減少し、魚を増やす運動も影をひそめてしまいました。 こうした傾向が続くと、ますます川は荒れて、自然の豊かさがなくなります。豊かな川づくりに積極的に取り組むよう要望します。</p>	<p>①鬼怒川には豊かな自然が残っています。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、動植物の生息・生育環境の保全にも十分配慮していきます。鬼怒川中流部の原風景である礫河原を保全・再生する取り組みも実施します。</p> <p>②ご意見のあった自然保護区の設定については、空間管理の目標を定め、自然環境の保全と秩序ある河川利用の促進を図るように検討していきます。</p>
					<p>河川事業については、特に生物の良好な生育環境に配慮し、併せて美しい自然景観を保全あるいは創出する目的で、平成2年から本格的に「多自然川づくり」を推進しているところであり、今後とも、治水・利水・環境との調和を図りつつ、必要な対策を推進していきます。</p>	

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
26	30代	男性	東京都	足立区	<p>私は釣行でよく小貝川を訪れます。小貝川に通うようになって、6年ぐらいになります。河川整備という名目で、護岸工事が行われ最初に見た風景とは大分変わり、殺風景となってしまいました。川の水質もかなり悪くなった気がします。支流の神通川も護岸化され、悲しいです。魚の為？人間の為？地元の方と話しても、殺風景な感じがしてきたとおっしゃっていました。私の子供と一緒に将来遊べる小貝川本来の景色も残して頂きたいと思います。素敵な川なのですから。</p>	<p>小貝川においては、従来より水門等の構造物周辺や水衝部などの構造上やむを得ない箇所を除いて動植物や景観等に配慮した「多自然川づくり」を推進しています。</p> <p>また、これまで小貝川の改修事業を進めてきましたが、まだ洪水を安全に流すための断面が不足している区間や利根川の影響を受け高い水位が長時間続くなどの課題があり、今後も河道掘削や堤防の強化、水衝部における護岸の整備が必要です。これらの改修事業の実施に当たっては、小貝川における湿性環境などの河川の特徴を十分配慮し取り組みを実施します。</p> <p>河川の汚濁対策については、下水道事業等の関係機関と連携し流入する汚濁負荷量の削減に流域が一体となって努めるとともに、水質汚濁の著しい流入支川において関係機関と連携対策を検討し、役割に応じた水質改善対策を実施します。</p>
27	50代	不明	栃木県	茂木町	<p>昔から川を制するものは国を制すと言われていますが、今日はすばらしく整備されて久しいですが、私の町でも過去に水害で河川が整備され、流れが変わり、コンクリート護岸になっています。一部公園も整備されていますが・・・。</p> <p>さて、老後にむけ、カヌーを始めたところですが、これまたいろいろな川下りをしてまず残念なことがトイレです。最近道の駅ならぬ川の駅でしようか、駐車場と船着場を兼ねたトイレを有する休み場があります。多くの川の駅とトイレを要望します。川は国民皆が自由に使える場所。QOLのために是非ご配慮下さい。</p>	<p>河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わります。河川整備にあたっては、従来、水門等の構造物周辺や水衝部などの構造上やむを得ない箇所を除いて動植物や景観等に配慮した「多自然川づくり」を推進しています。</p> <p>また、普段水が流れていない河川敷も洪水時には水が流れる区域であり、洪水の流れの阻害となる建物等の設置はできません。公園等にあるフェンスやトイレ等の施設は、洪水時には安全な場所に移動できるようになっています。これら整備された区域については、関係自治体や住民の方々との協働により運営されています。鬼怒川・小貝川においては、河川敷や河岸などで河川利用が活発なもの比較的カヌーなどの水面の縦断利用者は少ないようです。今後このような河川利用者が増えていく段階で利便施設の検討等、関係自治体と協議して行きたいと考えています。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
28	60歳以上	男性	茨城県	結城市	<p>「河川敷をきれいに」という願いは地元で暮らす私達も、国土交通省の役人さんも同じだと思います。何年前か前に実施したように、河川敷にのびたスキヤやその他の雑草を冬枯れの時期に焼く事が良いと思いますが野鳥の保護とかいろいろと事情はありまじょうがどうでしょうか。枯草がのびていると粗大ゴミなど捨てる人も多し又火災なども発生し易く不安です。</p>	<p>河川巡視によるゴミの不法投棄の監視、野火の延焼防止を目的として一部で高水敷きの除草等を実施しています。また、河川敷の野焼きについては、市町村が主体となり消防等と連携し、病害虫一斉撲滅や河川の火災防止、ゴミの不法投棄の防止を目的に、一部地域で実施しているところです。</p>
				取手市	<p>又、久保田栄橋の5,600m下流の河川敷に流れついた竹が根を張りあのみまにして置くと、何年後かには大きな竹林になり、川のためには悪い結果になるのではないかと心配して居ます。ご一考下さい。年一度の河川敷のゴミ拾いにはいつも協力していますし、今後もそのような時には必ずご協力するつもりです。</p>	<p>クリーン大作戦への参加など、日頃から河川美化活動へご協力いただき、ありがとうございます。ご指摘のとおり、竹は成長が早く、数年で竹林となり、洪水の流下阻害や堤防に竹の根が侵入し堤防に影響を与えます。このように河川の中には竹林だけでなく、様々な木が茂り樹林を形成しています。これらの河川内の樹木については、洪水の流下に対する支障、河川巡視上の支障、ゴミの不法投棄の温床、堤防等に対する悪影響等について検討を行い、必要に応じて樹木の伐採を行います。なお、伐採にあたっては、動植物の生息環境及び景観等の水辺環境に配慮し実施するとともに、伐採した樹木の有効利用について検討します。</p>
29	60歳以上	男性	茨城県	取手市	<p>水上スキー、水上バイク等の禁止、又は河川敷への（稲豊橋上流・つくばみらい側）車の乗り入れを出来ないようにしてもらいたいです。私は小貝川漁協同組合に入って釣や投網します。朝早く釣に出かけ釣をしていますと水上バイク等が八時前後にやって来ます。その日1日中釣に成りません。</p>	<p>河川水面の利用については、原則、自由使用となっておりますが、自然の保全と他の利用者の妨げにならないなど秩序ある利用を前提としています。そのため、看板等を設置し利用上のマナーの周知に努めています。</p>
				もう一つ、水ぎわ（川岸）くずれ落も最近多く見られます。	<p>堤防、護岸、河岸、樋門・樋管等について、日々の河川巡視で監視しています。異常が発見された場合、直ちに調査を行い、早急な対応が必要な場合には、速やかに対策を実施しています。今後も、これらの取り組みにより適正な河川管理に努めていきます。</p>	

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
30	10代	男性	茨城県	下妻市	<p>鬼怒川の河川敷あたりにキャンプができるような場所を作ってほしい。そこには水道をひいて、かまで屋外すい飯ができるようにかまどを用意する。</p> <p>キャンプファイヤーなどをやるためのたき木など燃えるものも用意する。木で家を作り中であみを用意して昆虫採集をやり、標本づくりをできるようにしてほしい。テント、ライト、食料などは自分で用意する。もし、テントやライトを忘れた人のために2個くらい用意しておく。自分で出したごみは袋にもちかえる。自分でつりざおをもってくればできるようにする。ほかにサッカー、野球、ゴルフなどスポーツ、遊びができるようなところもつくってほしい。</p> <p>そうすれば子どもたちが遊びにきたり、親子や家族で、きてキャンプをして昆虫採集、屋外すい飯、キャンプファイヤーなど協力してやれば自然や動物とふれ合えて親子、家族など地域の人たちとも仲良くなれると思います。なので、この木の家やキャンプができるような場所をつくるのをよろしくお願いします。</p>	<p>普段水が流れていない河川敷も洪水時には水が流れる区域であり、洪水の流れの阻害となる建物等の設置はできません。公園等にあるフェンスやトイレ等の施設は、洪水時には安全な場所に移動できるようになっています。これら整備された区域については、関係自治体や住民の方々との協働により運営されています。鬼怒川・小貝川は自然豊かな場所なので、自然との調和を図りつつ、治水への影響を配慮し地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備に努めていきます。</p> <p>例として、鬼怒川には宇都宮市上桑島に宇都宮市が緑地公園を作っています。そこには「鬼怒ふれあいビーチ」、「バーベキュー広場」、「芝生エリア」等があります。</p>
31	10代	男性	茨城県	下妻市	<p>プールみたいな水辺でいろいろな水遊びや（水でっぼうなど）30mくらいの高さの水のすべり台で遊んだり、海の家みたいな物で楽しんだりしてみたい。海の家みたいな物にはうきわやポート、ビーチボールなどを売ったり、そういう物で遊べる砂浜もほしい。つりぼりもやったりできる所やつりぼりでつった魚を食べることができるようにしてほしい。</p> <p>赤ちゃんでも遊べるキッズランドも作ってほしいし、おとしよりどうしでくつろげるハウスなどもつくってもらいたい。</p>	<p>普段水が流れていない河川敷も洪水時には水が流れる区域であり、洪水の流れの阻害となる建物等の設置はできません。公園等にあるフェンスやトイレ等の施設は、洪水時には安全な場所に移動できるようになっています。これら整備された区域については、関係自治体や住民の方々との協働により運営されています。鬼怒川・小貝川は自然豊かな場所なので、自然との調和を図りつつ、治水への影響を配慮し地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備に努めていきます。</p> <p>例として、鬼怒川には宇都宮市上桑島に宇都宮市が緑地公園を作っています。そこには「鬼怒ふれあいビーチ」、「バーベキュー広場」、「芝生エリア」等があります。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
32	10代	男性	茨城県	下妻市	<p>小貝川のちかくにみんなで遊べる遊び場を作ってほしいと思いました。理由は魚釣りなどが楽しめるからです。あとキャンプができる場所も作ってほしいです。理由はバーベキューなどをして楽しめるからです。バーベキューは自分たちでざいりょうをもってきて、肉や野菜などを食べたりできるからです。つった魚などもやいて食べたりできるからです。ぼくは、こういう場所を作ってほしいと思いました。あとみんなで遊べる運動場を作ってほしいです。運動場の理由は、みんな運動が好きで、おにごっこや、野球、サッカーなどをして遊びたいからです。川も近いのでこん虫さい集をしたいです。よろしくをお願いします。</p>	<p>普段水が流れていない河川敷も洪水時には水が流れる区域であり、洪水の流れの障害となる建物等の設置はできません。公園等にあるフェンスやトイレ等の施設は、洪水時には安全な場所に移動できるようになっています。これら整備された区域については、関係自治体や住民の方々との協働により運営されています。鬼怒川・小貝川は自然豊かな場所なので、自然との調和を図りつつ、治水への影響を配慮し地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備に努めていきます。</p> <p>例として、小貝川には下妻市横根付近に下妻市が小貝川ふれあい公園を作っています。そこには「バーベキュー広場・自然観察ゾーン・スポーツ施設」などがあります。</p>
33	60歳以上	男性	栃木県	日光市	<p>1. 大型ダムに洪水時の土砂や濁水を流すバイパスの設置を希望します。 普通の河川は洪水の後、あまり日時が掛からないできれいな川に戻りますが、ダムのある河川は長期に渡って、ダム湖や河川の流水がにごっています。見た目も悪いし、魚など川に住んでいるものに悪い影響を与えています。また観光のためにも良くありません。 ダムに困って土石が堰き止められ下流に供給されなくなりました。そのため河床が下り、護岸の根や、川床が下がり、砂、砂利が無くなり岩盤が露出してしまった所さえあります。鬼怒川は砂、砂利が豊富で生きものも豊富だったと聞きました。砂どじょうや川原野菊などが少なくなったのは、こんなところに原因があるのではないのでしょうか。また産業にもおおきに影響を与えています。土木工事でもっとも大事な砂、砂利を山に求めています。山が削られ、その姿さえ無くなってしまった所さえあります。 ダム地点、川だけでなく、地域全体を見て、自然がなるべく残るように、ダムに土石や濁水を流すバイパスが出来ないものではないのでしょうか。</p> <p>2. 都市用水の取水口を町を下流にし、下水道などの放流を町の上流に設置する。 川に流している下水などの処理水は余りきれいではありません。しかし、処理水を自分の町の上流に流して、下流から取水すれば、その水を自分たちが飲み水として使うことになるのですからもっときれいにしましょう。 川の水も増え豊かになるでしょう。</p>	<p>洪水時において、ダム湖へ流入する濁水は、降雨の規模、周辺山地の崩壊度等により一様ではありません。かつて濁水の長期化傾向が見られた川治ダムでは濁水拡散防止フェンスを設置し、流入する濁水を下層へ導き、表層を出来るだけきれいな状態に保つような取り組みを行っています。さらに、選択取水施設の整備により洪水時には中・下層の高濁度水を放流し、洪水後には表層の清水層から放流を行い、下流河川への濁水放流期間をできるだけ短縮するように努めています。</p> <p>また、流域における土砂全体を管理することは重要なことであると認識しており、今後も関係機関と協力の上、必要に応じ調査・検討を進めていきます。</p>
					<p>流域自治体や市民団体などによる水質浄化への取り組みが、流域各所で行われております。水質の向上はご指摘の通り各個人の意識の向上が重要と考えておりますので水質改善の広報に努めたいと思います。なお、河川の汚濁対策につきましては、下水道事業等の関係機関と連携し流入する汚濁負荷量の削減に流域が一体となって努めるとともに、水質汚濁の著しい流入支川において関係機関と連携対策を検討し、役割に応じた水質改善対策を実施します。</p>	

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
34	60歳以上	女性	栃木県	二宮町	意見1、鬼怒川の勝瓜頭首工下流部の水量について 豊かな鬼怒川の生態系を育む河川環境と美しい河川景観が著しく損なわれているので川らしい（水量）姿にして欲しい。	鬼怒川の必要流量については、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設や建設中の湯西川ダムにより、その確保に努めていきます。 また、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持等を図るため、水利用者へ河川流量や取水量等の指導を行っていきます。
					2、鬼怒川の水利状況について 減反政策が採られている現状で農業用の取水量（3頭首工の水利権）を見直して欲しい。農水省管轄の頭首工なので難しいことはわかっています。	農業用水の水利使用の更新に関しましては、概ね10年間毎に社会の変動、自然の変化等に対応した、水利用を協議して決定されています。取水量に関しては灌漑面積の他、用水路の形態等も考慮し決定されています。 この他、毎年灌漑期前に行われる水利調整連絡会等において水の適正な利用について調整を行うとともに、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持等を図るため、水利用者へ河川流量や取水量等の指導を行っていきます。
					3、大道泉橋から上流へ、せせらぎ公園が出来ると聞いていますが、日陰がまったく無くては、真夏の暑い日には誰も川に近づきません。 スーパ一堤防にして植栽するか、公園内に木を植えるか、東屋を作るか日陰を作ってください。小鳥たちの為にも、ところどころ木を残して欲しいかったです。	二宮・鬼怒川水辺プラザの整備や管理運営を協議するため、平成19年2月に二宮・鬼怒川水辺プラザ協議会が設置されました。協議会は、学校関係者・地元NPO・自治体・野鳥の会・漁業関係者を委員としており、木陰等については協議会におきましても意見が出され現在検討中です。
35	40代	男性	茨城県	筑西市	小貝川の堤防をウォーキングして感じる事 (イ)犬を連れている人が多い 従って次の問題が発生している 犬のフンが多い 引き綱を付けていないので危険である (ロ)ペットボトル等のゴミが多い	河川の利用については、原則、自由使用となっておりますが、自然の保全と他の利用者の妨げにならないなど秩序ある利用を前提としています。そのため、看板等を設置し利用上のマナーの周知に努めています。 ゴミの不法投棄対策については、日々の河川巡視による監視やゴミマップ等による啓発活動を行うとともに、「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」や「市民と協働で行う河川環境管理」等において、地域の方々の参加による河川の清掃活動や美化活動などを自治体と連携し、推進しています。今後とも河川美化にご協力をお願いします。
36	60歳以上	男性	茨城県	守谷市	河川行政は将来を展望の上、河川本来の自然形を生かした河川環境の維持に力を注ぐべきです。 特に、河川に野鳥が少なくなってきたことに危惧しております。 野鳥が多いことは虫が多いこと虫が多いことは樹木、野草の植生が豊かなことです。都市化等の地域改変が進む中、河川流域は貴重な空間です。	河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わります。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、動植物の生息・生育環境の保全にも十分配慮していきます。鬼怒川における礫河原や小貝川における湿性環境などそれぞれの河川の特徴を保全・再生する取り組みも実施します。

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
37	50代	男性	栃木県	上三川町	<p>上三川町の鬼怒川河川敷は県内の河川敷としては一番川幅が広い地域と思われます。しかしながら、年に何回か不審火等により、河川敷が燃え、地域の住民は他に燃え移らないか心配しております。</p> <p>解決策として、準備を整え、計画的に渡良瀬遊水地のヨシ焼きのように実施するか、現状では火災になっても消防車は水利の近くまでいけなくて見守るのが精一杯の時もかなりあります。</p> <p>打開策としては可能ならば河川敷に緊急用の仮設道路を造り、消防車が水利を確保できるようになれば延焼を防げ、また仮設道路（5～6m）が延焼をブロックする役目も果たす。</p> <p>通常は車止めブロックで中に入れないようにする。</p>	<p>野火の延焼防止、河川巡視による不法投棄の監視を目的として、一部の高水敷では除草等も実施しており、これらを活用した消防水利の確保も可能であると考えています。</p> <p>なお、河川敷の野焼きについては、関係市町村が主体となり消防等と連携し、病害虫の一斉撲滅や河川の火災防止、ゴミの不法投棄の防止を目的に、一部地域で実施しているところです。</p>
					<p>また河川敷の不法投棄等に対するクリーンキャンペーンは夏ではなく、ゴールデンウィーク時期ならヨシは伸びていなくて、ゴミ処理はかなり楽に実施できるのではないかと思います。（重機等により効率的に美しい姿を取り戻せるのではないかと思います。</p>	<p>「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」については、昭和61年8月洪水を契機に、鬼怒川・小貝川流域の自治体・県・国土交通省において、両河川の河川空間と水環境について意見を交換し、その適正な保全と利用を図るとともに、両川を介した地域の交流を促進することによって、流域の好ましい地域づくりを進めることを目的に設立した鬼怒川・小貝川サミット会議の活動の一環として実施されています。</p> <p>開催時期については、7月が「河川愛護月間」となっているため、7月の第2土曜日に実施することが鬼怒川・小貝川サミット会議で決定されていますが、ご指摘の件につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
					<p>Eポート大会等のイベントにより河川に親しめるようになればもっとよいと感じます。（河川愛護PRを兼ねて）</p>	<p>鬼怒川・小貝川流域の公園等施設やイベントなどについては、下館河川事務所のホームページ(<a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate">http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate</a>)や鬼怒川・小貝川の堤防に設置されている「川辺情報板」（下館河川事務所管内に56箇所、主に一里塚等）でご案内しています。</p> <p>また、下館河川事務所が発行する「流域情報誌Rio」などにおいても紹介しております。「流域情報誌Rio」は、流域自治体の庁舎、図書館、道の駅などに置かれております。</p> <p>なお、河川利用時における安全確保については携帯電話やインターネットによる水位情報の提供や川の安全利用に関するパンフレットなどにより啓発を促しています。</p> <p>今後もこれらのメディアを通じ、積極的に広報していきます。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
38	60歳以上	男性	栃木県	小山市	<p>私が住む絹地区は、小山市の北東部に位置し、東に鬼怒川、西に田川を臨む地域です。鬼怒川は私たちにとって、自然の脅威を感じるどころであり、自然の恩恵を与えてくれる大きな存在であります。私たちは、自治会をはじめ、多くの関係者が集い、鬼怒川河川敷有効活用促進協議会という団体を設立し、鬼怒川の自然をまもる清掃活動、ごみの不法投棄を防ぐための枯草焼却、水辺を生かした魚のつかみ取り等を実施しており、私はその代表者を務めています。</p> <p>絹地区は平坦な形状で、かつては洪水の多かった地域でありましたが、鬼怒川に堤防が整備され、田川から鬼怒川へ放水路が整備されたことにより、昭和40年代の初めを境に洪水の危険にさらされるようなことがなくなりました。これも国土交通省をはじめ、関係者の皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。河川整備計画を策定されるにあたり、まず流域の安全を図り、飲料水・農業用水の確保するということがあがると思います。加えて、私たちが進めています活動の趣旨をいただき、河川敷の自然環境をまもること、一部を地域住民が利用しやすい水辺空間に整備することを要望します。</p> <p>とくに中島橋付近は、釣り人はもちろんのこと、家族づれで川の自然に親しむ場所になっています。私たちの活動もこの付近が中心で、近くの平地林をまもる活動も実施しています。中島橋付近を地域住民が利用する空間と位置づけ、整備されることを要望します。その際、隣接する平地林と有効利用することがより理想的だと思います。</p> <p>現在、水辺と平地林の間に竹林があり隔てています。これをまず、伐採していただければと思います。そうすれば、見通しがよくなり、地域住民が水辺や平地林をより利用しやすくなると思いますので、よろしく願います。</p>	<p>河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わります。今後の河川整備に当たっては、河川のみならず必要に応じて、河川周辺の環境も把握した上で、河川整備に生かします。更に、流域の歴史及び文化等に地域特性もふまえて治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれの目標が調和しながら達成されるよう総合的な視点で整備を進めます。</p> <p>中島橋周辺は小山市をはじめ周辺地権者の方や鬼怒川河川敷有効活用促進協議会の方々など、関係者と協議し、検討していきます。</p>
39	70歳以上	男性	茨城県	常総市	<p>常総市地先の小貝川河川敷(伏木山及び廃川等)は首都圏都心部に比較的に近いオートキャンプ場の可能性があります。河川事務所及び常総市が協議してアクセス道路の整備等を含めて実現に向われることを希望します。</p> <p>常総市の鬼怒ふれあい公園には鬼怒川の水辺との接触がありません。戦前に比べれば川は随分おとなしくなりました。川辺の施設があればもっと利用が増えるのではないのでしょうか。</p>	<p>普段水が流れていない河川敷も洪水時には水が流れる区域であり、洪水の流れの阻害となる建物等の設置はできません。公園等にあるフェンスやトイレ等の施設は、洪水時には安全な場所に移動できるようになっています。これら整備された区域については、関係自治体や住民の方々との協働により運営されています。鬼怒川・小貝川は自然豊かな場所なので、自然との調和を図りつつ、治水への影響を配慮し地域のニーズ及び自治体の計画を踏まえ、関係自治体と連携し、周辺施設との連携や川とのふれあいの創出など、ユニバーサルデザインに配慮した親しみやすい河川空間の整備に努めていきます。</p> <p>小貝川河川敷では、下妻市横根に下妻市が小貝川ふれあい公園として占用し、そこにはバーベキュー広場・パークゴルフ場・ポピー畑等が整備されています。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
40	50代	男性	栃木県	益子町	<p>益子町で自然観察会を主催しております〇〇と言う者です。益子町内を流れる小貝川については河川改修が進み、護岸工事が行われておりますが、工事方法に付いて意見があります。実は小貝川の益子町内南端田野橋付近では以前から希少種のチョウが生息し、貴重な繁殖域になっております。「ギンイチモンジセセリ」と言いますが、環境省では準絶滅危惧種、栃木県では要注意種、になっております。河川工事に付きましては、田野橋上流域について、全域工事を避け、部分工事で地域の食草「ススキ」「チガヤ」等が繁殖期に確実に地域に残存する環境を作って行く事が求められると思います。以上簡単に述べました。必要なら詳しい地域情報、写真等提出する事が可能ですのでご連絡下さい。</p>	<p>小貝川においては、これまで改修事業を進めて参りましたが、まだ洪水を安全に流すための断面が不足している区間や堤防の強度が不足している区間があり、今後も河道掘削や堤防の強化、水衝部における護岸の整備等が必要です。これらの改修事業の実施に当たっては、小貝川における湿性環境などの河川の特徴を十分配慮し取り組みを実施します。</p> <p>今回の小貝川河川整備計画は国土交通大臣管理区間であるJR常磐線橋梁（茨城県取手市）から田野橋（栃木県真岡市・益子町）までを対象としており、ご意見のあった田野橋上流区間については、本整備計画の計画対象外の区間であります。よって、ご要望の件については、担当部局（河川管理者；栃木県）にお伝えします。</p>
41	30代	男性	東京都	葛飾区	<p>絶滅に瀕した植物がかず多く生育している鬼怒川・小貝川で、これらを守っていくことのできるような管理をしていただきたいと思います。</p>	<p>鬼怒川では、近年、特徴的な環境である礫河原の減少が顕著になっており、学識者や専門家、地元住民等を交え御意見を伺いながらその再生に取り組んでいるところです。現在、氏家地区において鬼怒川の原風景である礫河原環境の再生のため試験工事を実施していますが、出水後の状況やその後の植生の変化等についてモニタリング調査・検証を行いながら引き続き取り組んでいきます。</p> <p>河川整備に当たっては、鬼怒川における礫河原・砂河原、小貝川における湿性環境などの河川特有の自然環境に配慮した取り組みを実施します。また河川環境および河川利用の現状をふまえ、よりよい河川空間の管理を目指します。</p> <p>また、自然環境保全のための管理は地域住民のご理解やご協力が不可欠なものでありますのでご協力お願いします。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
42	20代	男性	茨城県	つくば市	河原の希少な植物、日本在来植物にも配慮した河川管理が行われていくとよりよいのではないかと思います。	<p>鬼怒川では、近年、特徴的な環境である礫河原の減少が顕著になっており、学識者や専門家、地元住民等を交え御意見を伺いながらその再生に取り組んでいるところです。現在、氏家地区において鬼怒川の原風景である礫河原環境の再生のため試験工事を実施していますが、出水後の状況やその後の植生の変化等についてモニタリング調査・検証を行いながら引き続き取り組んでいきます。</p> <p>河川整備に当たっては、鬼怒川における礫河原・砂河原、小貝川における湿性環境などの河川特有の自然環境に配慮した取り組みを実施します。また河川環境および河川利用の現状をふまえ、よりよい河川空間の管理を目指します。</p> <p>また、自然環境保全のための管理は地域住民のご理解やご協力が不可欠なものでありますのでご協力をお願いします。</p>
43	60歳以上	男性	栃木県	宇都宮市	①真岡左岸、広大な水辺への立入りを事実上、阻害しているゴルフ場を廃止して下さい。小数の方達で専有し、水辺には全く関係の無いジャンルの現状はおかしい。	<p>ご質問のゴルフ場は真岡市が占有している公園の一部であり、どなたでも利用できるパブリック制であり、真岡市の「フレ・キヌ・スコレ計画」（真岡市における鬼怒川の清流と恵まれた緑、自然環境を有効利用する計画で、真岡市の生涯教育に関する総合計画の一部）において位置づけられています。</p> <p>河川の使用は、散歩等で河川敷地を使用するときには、自由使用の範疇で、河川管理者の許可はいりませんが、特定の者が河川敷地を継続的に使用するためには、河川管理者の許可が必要になります。河川敷地の占用許可は、治水、利水及び環境に係る本来の機能が総合的かつ十分に維持されるとともに、良好な環境の保全と適正な利用が図られるよう行う必要があります。</p> <p>河川区域内の土地にゴルフ場を設置する場合は、河川敷地占用許可準則等により、審査して許可をしております。</p> <p>許可基準としては、「国又は地方公共団体が設置するゴルフ場は公園施設として含む公園であること。この場合、当該公園面積の50%以下とする。」と定められています。これにより河川敷地利用の公共性、自由使用とのバランスを担保しています。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>②真岡の奥怒大橋下流右岸1K程の用水への引込が深く渡れない、浅くして、2列にするなど工事について指導して下さい。危険を感じます！</p> <p>③現在工事中の石井右岸の「古くなった護岸を直しています」は今後の工事説明のお手本になります。他のあらゆる工事も、こうあって欲しい。</p> <p>④オレンジ色のパトロールカーが行動する様になって気分が良い。更に注意をスピーカーで呼びかける等実際の行動を見せて欲しい。</p> <p>⑤うぐい漁で、川を全部専有する等、目にあまる工事が目立ちます。うぐいがほとんどいなくなってもいます。現状規制して欲しい。重機を常置しての違法工事があたりまえになって、皆、それを見てます。おかしいです。</p> <p>⑥とにかくパトロールを強化して下さい。</p> <p>⑦お世話になっています。期待しています。</p> <p>⑧この様な連絡手段を常置化して下さい。</p> <p>追伸 ①の付近に観察センターを初めて見かけましたが、ゴルフ場などやめて、ど真中にこの様なPRセンターを設けて、事務所兼の拠点としたらどうか？</p> <p>宇都宮等も同じく考えて欲しい。水辺にあるべきと思う。かけ込みやすい。</p>	<p>②当該施設は、農業用水を取水するための施設であり、施設管理者により転落防止のための防護柵が設置されております。</p> <p>③工事用看板の表示については、平成18年11月以降の全ての工事で、工事内容をよりわかりやすく説明した工事看板としています。今後も引き続き実施していくとともに、沿川からのご意見を伺いながら必要により改善していく予定です。</p> <p>④スピーカーについては、緊急時等必要に応じて使用しています。</p> <p>⑤うぐい漁は、当事務所では瀬付漁として許可をしております。申請者は漁業法に基づく採捕許可を受けた者に限定しております。なお、漁業権に関する許可は都道府県（栃木県）で行っています。瀬付採捕場所、仮設休憩小屋等の使用面積は必要最小限度としております。許可以外の行為や重機等の存置があれば、河川管理者として厳正に対処します。</p> <p>⑥河川パトロールは、河川区域等における不法行為の発見、河川管理施設及び許可工物の維持状況の確認、河川空間の利用に関する情報収集、河川の自然環境に関する日々の情報収集等を目的として実施しています。また、休日の巡視も実施しております。</p> <p>鬼怒川及び小貝川は延長が長く、1出張所あたり1日に約30km～50km間の巡視を行っています。また、川幅も広く確認項目も多い他、徒歩による巡視が必要な箇所もあり、運転を行いながらの巡視では危険であり、効果的・効率的な河川巡視を実施するため、車両運転手1名及び河川巡視員1名の2名体制で実施しています。</p> <p>⑦-</p> <p>⑧下館河川事務所では、事務所にふるさと相談室を、管内8つの出張所にふるさと相談室分室を設けています。ふるさと相談室は、鬼怒川・小貝川流域市町のみなさんやボランティアの方々の、川に関するあらゆる相談ごとの窓口となり、より魅力ある川づくりや川を生かした地域づくりなどに迅速に対応することとしています。川に関する提案や相談がありましたらお気軽にお尋ねください。</p> <p>また、下館河川事務所ホームページ（<a href="http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/">http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/</a>）においても同様に川に関するあらゆる相談ごとの受付をしております。</p> <p>河川に関する情報に関しては、鬼怒川・小貝川の堤防に設置されている「川辺情報板」（下館河川事務所管内に56箇所、主に一里塚等）によりこれまでさまざまな情報発信を行っているところでありますが、一層の充実を図っていきたいと考えております。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
44	50代	男性	茨城県	つくばみらい市	<p>私は、小貝川の豊かな水の恵みで米作りをしている兼業農家です又、小貝川漁協組合員の一人として魚採りなどして川の自然とふれあいを楽しんでいます。近年魚数が減ってきている感じがしてなりません。その原因として</p> <p>1、水害防止・流量促進を優先して実施している河川整備工法から生じた水辺のコンクリート化</p> <p>2、春～夏の期間における水上バイク等愛好者による身勝手な水面利用</p> <p>3、外来魚・川鵜の増加による食害が考えられます。</p> <p>私の意見としては、魚が河川で自然繁殖し、かくれられる場所作りを河川整備計画（特に護岸工事設計）に取り入れて施工していただければ幸いです。</p> <p>魚が増加すれば子供達・大人問わず川に親しみを覚え、川の恵み・河川の重要性を再認識するでしょう。</p> <p>（例）</p> <p>自宅近くの水辺に先人達が施工した「松杭を逆さに打ち込んで川底に粗朶を重ね上部は割石でおさえる」方法で施工した場所があり、時々川鵜が集団で魚を食べに来ているのを見ると早く粗朶へかくれると声を出したくなる時があります。</p> <p>6号国道藤代バイパス橋下流に作ったのが近年の土木工法による施工場所かと思っていますが、更に施工場所を増していただければ川と人々がふれあう機会が多くなるでしょう。</p>	<p>河川事業については、従来より水門等の構造物周辺や水衝部などの構造上やむを得ない場所を除いて動植物や景観等に配慮した「多自然川づくり」を推進しているところであり今後とも、河川の特徴を充分配慮し取り組みを推進していきます。</p>
45	不明	不明	茨城県	筑西市	<p>鬼怒川・小貝川は自然の多く残るすばらしい河川です。私は、小貝川のすぐ脇に住んでおり、子供の頃より親しみ川と共に暮して参りました。一時、河川の水質汚染がひどい時期もありましたが、ここ数年は改善され、水に触れることの喜びを再確認しているところであります。また、子供たちの（親を含む）の河川（自然）離れは見るに堪えません。私は、PTA等で河川での遊び、勉強を推奨して参りましたが、現教育の壁に阻まれ、子供たちを川に連れて行くことすら出来ません。そこで、小貝川中流域の筑西市西石田周辺、及び旭ヶ丘遊水池に水辺の学校を整備していただきたく御願いたします。</p> <p>とくに、西石田周辺は流れも穏やかであり、砂利の場所等が、自然のまま残っております。</p> <p>近くには小学校もあり、勉強の場所としては最高の場所です。ただ、現状のままでは、学校としても子供たちを連れて行けないとのこと、自然を極力変えないで、整備をし、安心して行ける環境を作っていただければいいのではないのでしょうか。また、整備後の管理についても、地元の若者の団体（自治会等も含む）が管理を請け負うだけの環境にあります。</p> <p>是非とも小規模でいいので、河川内に入れる環境作りを御願したいと考えております。</p> <p>また、上流から下流までの同一のテーマを持つことにより流域住民の交流も出来、河川の環境の維持改善が図れるのではないのでしょうか。</p>	<p>河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わります。今後の河川整備に当たっては、河川のみならず必要に応じて、河川周辺の環境も把握した上で、河川整備に生かします。更に、流域の歴史及び文化等に地域特性もふまえて治水と利水、環境及び利用を一体的にとらえ、それぞれの目標が調和しながら達成されるよう総合的な視点で整備を進めます。</p> <p>母子島遊水地（旭ヶ丘）に関しましては、小貝川における治水の大きな役割を果たしているほか良好な景観が広く認知されている場所でもあり、筑西市の計画においても緑地景観ゾーンとして位置づけられる等、平常時における活用に関しても必要性を認識しております。今後、関係機関と協議し検討を行います。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
46	50代	女性	栃木県	日光市	<p>利根川水系河川整備計画についての意見を述べます。</p> <p>①整備計画全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構想段階でもっと早めに住民に情報提供すべきです。</li> <li>・関係住民ではなく、広く県民からの意見を聞くべきです。</li> <li>・受益者ではなく、むしろ反対派住民の意見を積極的に聞くべきです。</li> </ul>	<p>豊かであるおおいのある質の高い国民生活や、良好な環境を求める国民のニーズの増大等の最近の動きに的確に答えるため、平成9年に河川法が改正され、河川整備の基本となるべき方針に関する事項を定めた「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の目標や河川整備の内容を定めた「河川整備計画」を策定することとなっています。そして、河川整備計画の案を作成する場合には、必要に応じ、住民の皆様のご意見を伺う場の開催など関係住民の意見を反映させるために必要な措置を講じることとなっています。</p> <p>このため、河川整備計画の策定にあたっては、河川のもつ特性や流域の特性、地域とのつながりなど地域の実情を踏まえ、各河川ごとに工夫を行いながら様々な方法で意見聴取を行っているところです。</p> <p>利根川水系については、1都5県にわたり流域面積が広く、河川や地域の特性に応じ多様な意見もあることから、できるだけ多くの皆様から幅広く丁寧にご意見を伺うことができるように、インターネットやはがきによる意見募集や、流域を本・支川毎に5ブロックに分け、各ブロックごとに複数の会場を設けて皆様のご意見を伺ってきました。頂いたすべてのご意見等に対しては、河川管理者としての考え方を示すとともに、これからのこのような取り組みを通じて、できるだけ多くの皆様から幅広く丁寧にご意見を伺っていきます。</p>
					<p>②思川開発事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が確実となった現在、水余りの時代になってきています。高い建設費をかけてなダム建設は不要です。勇気をもってこの事業からの撤退を求めます。</li> <li>・黒川、大芦川からの導水は荒井川の水脈を断ち切り、この周辺地域の地下水枯渇をひきおこすことが充分考えられます。先進地域の事例を見ればそれは予測がつくことです。たとえば神奈川県津久井町の青山、青根地区の沢涸れ現象は宮ヶ瀬ダムへの導水によるものであり、この地区の住民は昔から使用して来た地下水を失い、その結果まずくて高い水道水を使わざるを得なくなりました。津久井町でのこの現象に対して建設省（当時の対応はまったくお粗末な内容でした。荒井川流域の上久我地区で同様の恐れがないのか、非常に危惧しています。絶対に生じ得ないのであればその根拠になるものを証拠として示してください。もし、万が一にも沢涸れが起きてしまった場合、国交省はどのような責任をとる用意があるのか、具体的に示してください。「導水管によるものかどうか原因は不明」などという逃げの返答はせず、誰もが納得でき、周辺住民の経費負担が絶対ないように誠意ある対策をして欲しいと思います。しかし一番の得策は、他所からの水を当てにするという、このダム計画そのものを中止することです。</li> <li>・水特法による“箱物建設”がダム下流地域に計画され、都市住民との交流をめざしているそうですが、その土地土地の文化や伝統に関心もち、本物の田舎を求める都市住民の要望をそれが満たすものであるのか疑問に思います。ダムを作らず、人工物も作らず、南磨地区はエコミュージアムとして多くの人々が心身を癒す場所として利用されていく場所だと思っています。ダム湖の淀んだ水は本当の水ではありません。</li> </ul>	<p>思川開発事業は南摩ダムと導水路の建設により、思川流域及び利根川本川下流域の洪水被害の軽減を図り、また、河川の維持や既得かんがい用水などの取水に必要な水量の確保を図るとともに栃木県及び埼玉県などの新規都市用水の確保、異常渇水時の緊急水の補給を目的として、利根川水系思川の支川南摩川（栃木県鹿沼市）で建設を進めている事業です。</p> <p>洪水時には、ダムサイト地点で最大125m<sup>3</sup>/sの洪水を調節し、思川流域及び利根川本川下流域の洪水を低減します。</p> <p>また、思川開発事業では4県（埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県）の水需要に應えるため、都市用水として最大約3m<sup>3</sup>/sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として約1m<sup>3</sup>/s（約30%）が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>南摩ダム建設にあたり、周辺自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策を実施します。</p> <p>なお、南摩ダムは早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
47	不明	男性	茨城県	筑西市	<p>鬼怒川・小貝川を考えよう            昨年三月末であった。ラジオで聞いたことです。銚子の人の話によると四月から五月にかけて、銚子沖ではいろんな魚が沢山集まる場所がある。その理由は利根川の雪解け水によるものである。この水には上流の木の落葉が溶けて微生物となつていて魚の良い餌となっている。この水の集まつた処は菜つ葉の色と似ているので銚子の人達は菜つ葉潮と呼んでいる。</p> <p>後日、銚子の方と電話や文通が出来るようになり昨年の秋に便りがあり最近では河川改修やダム建設、堰も作られ利根川の雪解け水が少なくなり不漁になつたと漁師達が嘆いていると書かれてありました。</p> <p>鬼怒川の勝瓜堰のことですが、小生は堰そのものを見ていないのでよくわかりませんが、元水利組合の事務をなされた方のお話によると下流に行く水は見せかけにだけの魚道の水と堰に溜められた水が地下に染みこみ地下水となつて堰の下をくぐり抜けて下流で地表に出る水と大雨のとき溢れ出た水が流れるくらいだと話して下さった。</p> <p>「鬼怒川・小貝川流域を語る会」の編著の本を読むと利根川の水が海へ行くのが少なくなつた理由がおぼろけながらわかつてきた様な気がしましたしかし海の水のためにも何とか工夫して上流の森の水が海にゆくようにしてもらいたいものである。</p> <p>気仙沼の牡蠣養殖漁師が山に登り樵の苗木を植えたあとに「森豊かなら海豊かなり」と語られたテレビ放送の言葉がいまでもはつきりと耳の奥に残っている。</p> <p>女方に住んで居るのでここ数年早春の頃鮭の稚魚の放流に参加している。鳥達が来て放流した稚魚を食べられないように手花火のようなものを空に向かつ発射していた。最近川鵜が群をなして来て稚魚が食べられて魚が減ってきている話があった。この地方ではおいかわを（やまべ）と呼んでる魚もそのひとつである。</p> <p>秋には鮭をとる網が架けられ見にくくと白く傷のある鮭の泳ぐ姿を見かける。</p> <p>堰の話にもどりますが垂直に水が落ちるものが多く見られますが水海道の豊水橋の鬼怒川の流れを見ますと段差ついたものになつてこのように水を斜めに流すようにすれば魚達も自由に行き来ができるのではないかと思いますそうすれば自然な形で魚も生活がなりたち川も豊かになり鮭なども傷つかずに遡上できるのではないかと思います            まとまらない文章ですが何か御参考になれば幸せと存じます。</p>	<p>鬼怒川の必要流量については、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設や建設中の湯西川ダムにより、その確保に努めていきます。小貝川における必要な流量については今後調査検討を行っていきます。</p> <p>鬼怒川には、頭首工による農業用水の確保や床止めによる河床高の維持が図られていますが、一部でこのような横断工作物により上流と下流で段差が生じており、魚類の遡上・降下に支障をきたしているものもあります。国土交通省では、河口から上流まで魚類の遡上・降下環境の改善を図る方針です。鬼怒川につきましてもこれまで横断工作物に魚道を整備するなど、下流から計画的に取り組んできております。今後とも、支障となる河川横断構造物についての調査を行い、魚道の改良や新設などを行います。なお、魚類の遡上・降下の支障となる取水堰等の占用許可工作物については、施設管理者と調整していきます。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
48	40代	男性	東京都	日野市	<p>利根川水系の河川整備計画に盛り込んで欲しい内容 以下の2点を河川整備計画に盛り込んでください。</p> <p>1) 利根川水系には国際的に重要な野鳥の生息地IBA（重要野鳥生息地）が6カ所あり、これを保護・保全するという視点</p> <p>2) チュウヒ（昨年12月に絶滅危惧Ⅱ類から絶滅危惧ⅠB類にランクアップ）が生息する渡良瀬遊水地を保護・保全するという視点</p> <p>1)に関する理由：</p> <p>IBA（Important Bird Areas）重要野鳥生息地は、国際的な鳥類保護組織であるBirdLife Internationalが、世界100ヶ国以上の加盟団体（日本のパートナーは財団法人日本野鳥の会）と共同実施しているプロジェクトです。IBAリスト（目録）は、鳥類を指標にした重要な自然環境を、世界共通の基準（IBA基準）によって選定したものです。</p> <p>利根川水系に係るIBAサイトは以下の6カ所です。これらの選定基準と環境構成を損なわず、またそれぞれの保全への脅威に留意した整備を進められるような計画にすべきである。</p> <p>■奥只見・奥日光・奥利根（その中の奥日光・奥利根） 選定基準：A3基準（北東アジア温帯林） 環境構成：森林 保全への脅威：不十分な森林管理、水門ダムの建設など</p> <p>■霞ヶ浦・浮島（全域） 選定基準：A1基準（オオセッカ） A3基準（オオセッカ、コジュリン） A4i基準（コテドリ、ムナグロ、カモ類） 環境構成：湖沼、淡水性湿地 保全への脅威：狩猟、観光、湿地の干拓、水門の建設、外来植物の導入など</p> <p>■利根川河川敷（全域） 選定基準：A1基準（オオセッカ） A3基準（オオセッカ、コジュリン） A4i基準（チュウシャクシギ） 環境構成：河川敷 保全への脅威：農地の放棄、水門建設、湿地干拓、外来植物の導入など</p> <p>■利根川河口域（全域） 選定基準：A4i基準（ミュビシギ） 環境構成：干潟、砂浜 保全への脅威：堤防工事、海岸への車の乗り入れなど</p> <p>■浅間・白根・谷川（その中の分水嶺から利根川側） 選定基準： A3基準（北東アジア温帯林） 環境構成：森林 保全への脅威：不十分な森林管理、水門ダムの建設など</p> <p>■東京湾奥部（その中の三番瀬） 選定基準：A4i基準（カワウ、スズガモ、ダイゼン、キョウジョシギ、ハマシギ、ミュビシギ、キアシシギ、チュウシャクシギ） A4iii基準（スズガモ） 環境構成：干潟、浅海域 保全への脅威：河川等からの土砂供給、洪水時の江戸川放水路からの放流、生活雑排水による富栄養化など</p>	<p>1) オオセッカの生息地となる下流部のヨシ原や汽水域の干潟についてはできるだけ保全を図る考えですが、治水事業における必要性から掘削などを実施することになった場合は、モニタリング調査を実施し、必要に応じ学識経験者の意見を聴きながら保全措置や代替措置などの対策に努めます。</p> <p>2) 渡良瀬遊水地は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 の4県にまたがる日本で最大の遊水地で、渡良瀬川、巴波川、思川の洪水流を受け入れることにより、人口・資産の集中する利根川・江戸川下流域を守るという、治水上重要な役割を担っています。この渡良瀬遊水地は、広大なヨシ原に代表されるように、良好な動植物の生息・生育の場としての豊かな湿地が残されていることから、未だ不足している治水容量確保にあたっては、湿地の保全と再生に配慮した手法の検討を進めます。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>(参考) 選定基準                      IBA基準生息地の選定は、BirdLife Internationalの定めた全世界共通の基準により進められています。この基準はBirdLife Internationalの発行しているアジアのレッドデータブックや世界の固有種生息地リスト、およびWetland Internationalの発行している水鳥個体数推定値、ラムサール登録湿地に指定される為の基準5および基準6などを元にして定められたもので、おおまかには以下の4つのIBA基準として                      A1基準 世界的に絶滅に危機にある種が生息している。                      A2基準 限定された地域に生息する種、または固有種が生息している                      A3基準 あるバイオームに特徴的な種の相当数が生息している                      A4基準 多くの渡り鳥が利用／生息している                      参考文献：日本野鳥の会、2006、IBA白書2005 Birdlife International、2004、IMPORTANT BIRD AREAS IN ASIA、Key sites for conservation                      2)に関する理由：                      チュウヒ（環境省レッドリストの改訂で、昨年12月に絶滅危惧Ⅱ類から絶滅危惧ⅠB類にランクアップ）は、国内では繁殖地が少なく局地的であり、イヌワシやクマタカ（絶滅危惧ⅠB類）よりも繁殖つがい数が少ないにもかかわらず、これまであまり注目されておらず保護活動も進んでいません。これまでに、国内では数十つがいしか繁殖していないこと、ラムサール条約湿地となった仏沼以外では生息環境であるヨシ原の環境が悪化していること、大規模なヨシ原を保全する法的枠組みが少ないこと、ヨシ原でも水路や開水面が必要なこと等が確認されてきており、渡良瀬遊水地に注目しております。                      現在、渡良瀬遊水地では、冬期30羽前後のチュウヒが生息するにもかかわらず、チュウヒの繁殖は確認されていません。青森県仏沼では、ヨシ焼きによる環境管理をしているにもかかわらずチュウヒの貴重な繁殖地となっていることから、ヨシ焼きの時期や方法の関係から、繁殖に至らないことが推定されています。チュウヒ以外にも、サンカノゴイ（絶滅危惧ⅠB類）、ヒクイナ（絶滅危惧Ⅱ類）、ヨシゴイ（準絶滅危惧）などが生息しており、植生管理、水位管理等に配慮が必要である。                      参考文献：平野敏明、2006、渡良瀬遊水池におけるチュウヒの生息状況と利用環境、チュウヒサミット                      2006 日本野鳥の会、2006、平成17年度渡良瀬遊水池猛禽類調査報告書                      以上</p>	
49	50代	男性	栃木県	宇都宮市	<p>1. 天然の鮎や鮭が中・上流域まで遡上できるよう、魚道の整備と、遡上期の流量や水の連続性を充分確保されたい。</p>	<p>1. 鬼怒川には、頭首工による農業用水の確保や床止めによる河床高の維持が図られていますが、一部でこのような横断工作物により上流と下流で段差が生じており、魚類の遡上・降下に支障をきたしているものもあります。国土交通省では、河口から上流まで魚類の遡上・降下環境の改善を図る方針です。鬼怒川につきましてもこれまで横断工作物に魚道を整備するなど、下流から計画的に取り組んできております。今後とも、支障となる河川横断構造物についての調査を行い、魚道の改良や新設などを行います。                      また、魚類の遡上・降下の支障となる取水堰等の占用許可工作物については、施設管理者と調整していきます。</p>

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
					<p>2. 堰や床止下流で瀬切れを生じているところが多くあることから、年間を通して流量を確保すべき。</p> <p>3. 流域住民と国等行政との協働による川づくりを推進するため、地域住民や関係事業者等が行う環境美化保全活動や、川への愛着心を育む体験学習、魚釣り大会など水環境再生意識醸成活動に対して、活動支援予算を確保されたい。</p>	<p>2. 鬼怒川の必要流量については、既設の五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、鬼怒川上流ダム群連携施設や建設中の湯西川ダムにより、その確保に努めていきます。</p> <p>3. 鬼怒川・小貝川では、自治会を始め多くのNPO、学校、企業およびボランティア団体等で清掃活動を行っています。下館河川事務所では、平成14年からこのような地域住民が行う環境美化活動を河川管理者と自治体が支援する仕組みとして「市民と協働で行う河川環境管理」の取り組みを進めています。具体的な役割分担としては、地域住民（自治会、愛護団体、NPO、ボランティアグループ、学校、企業、同好会などで10人以上のグループ）が「清掃・除草」「花壇の整備・管理」などを行い、河川管理者が「清掃用具の提供および貸し出し」「活動実施者を紹介する掲示」を行い、協力者（市町村）が「収集ゴミの運搬・処理」を行っています。</p>
50	40代	男性	栃木県	宇都宮市	<p>私は、日本野鳥の会栃木県支部で保護（副支部長）を担当しています。以下に、鬼怒川の整備計画に関する意見を述べます。 日本野鳥の会栃木県支部では、鬼怒川において、長期にわたって鳥類の保全および観察を続けてきました。 特に、宇都宮市から真岡市にかけての地域では、年数回のペースで30年近く野鳥観察会を開催しています。また、この地域には国のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されているコアジサシが繁殖しています。50巣を超えるコロニー（集団繁殖地）が観察されたこともあり、栃木県内では最大の生息地となっています。コアジサシ以外にも、200種類近い鳥類が記録されており、鬼怒川は水辺性重要な鳥類の生息地となっています。 さらに、コアジサシが繁殖するような玉石や砂礫からなる礫河原は、カワラノギクやカワラニガナなど、河川特有の植物の生育地にもなっています。 しかし近年、洪水の減少、低水路の固定化、河床の低下などにより、かく乱を受ける頻度が低下し、ヨシなどが繁茂し好適な環境が減少しています。治水上の安全に配慮しつつも、河川特有の環境が維持できるよう、一定の洪水やかく乱を許容する河川計画・管理が必要であると考えます。</p>	<p>鬼怒川では、近年、特徴的な環境である礫河原の減少が顕著になっており、学識者や専門家、地元住民等を交え御意見を伺いながらその再生に取り組んでいるところです。現在、氏家地区において鬼怒川の原風景である礫河原環境の再生のため試験工事を実施していますが、出水後の状況やその後の植生の変化等についてモニタリング調査・検証を行いながら引き続き取り組んでいきます。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
51	60歳以上	男性	栃木県	真岡市	鬼怒川、小貝川を考える件なんとしても、川、又山林は人々がその恩恵を時には忘れがちであるが、どうして。雨が降り水害■いる木々はそれを守り鬼怒川・小貝川河川整備計画は絶対に必要と考えておりますので是非日本の安全性をたもつためにも宜しくお願いします。(投かんがおくれましたが、もし有効で取扱い下されれば幸いです。	「鬼怒川河川整備計画」、「小貝川河川整備計画」は、おおむね30年後の河川整備の目標及び具体的な河川の整備内容を示すもので、治水の目標としては、おおむね30年に1回の確率で発生する規模の洪水を安全に流下させることを目標としています。なお、河川整備の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、環境の保全にも十分配慮していきます。 また、過去の大洪水による被害を風化させないために、過去の水害の歴史や防災への取り組みの重要性、治水事業の必要性等に関する広報・啓発活動についても一層の充実を図っていきます。
52	40代	男性	栃木県	日光市	大谷川の護岸工事について。大谷川の日光大谷川公園キャンプ場裏の護岸工事は、お役所の支持で「自然石を使った景観を配慮した物に」ということで進められているらしいですが、護岸に使う石を川から掘り出して使っており、肝心の川の中に石が無くなってしまっています。これではとても魚や動植物が生きていける状態ではありません。「景観に配慮した護岸を」といいますが、今のただ岩をコンクリに貼り付けてだけの護岸では子供だましもいいところです。本当の意味で自然にやさしい方法があるはず。これ以上大切な自然を破壊してはいけません。その場所だけではなく下流、川全体に悪影響が出てきます。一刻も早く改善しないと大谷川が死んでしまいます。	大谷川床固群は、安全な流れをつくるため、曲がりくねった川を真っすぐにして、川の流れを安定させ、大雨時などに水があふれないようにするとともに、川岸や川底の土砂が削られるのを防ぎます。 景観に配慮した理由は、過去に様々な災害があり、土石流を安全に流すにはコンクリートで固めてしまえば良いのですが、平常時には周辺の環境との違和感があるため、なるべく従来から現地にあった自然石を使用して護岸を施工しています。 また、自然石は高水敷から掘り出しており、水が流れている川から掘り出して使ってはいけません。 工事完成後には、魚のために巨石を川の中に配置しています。 工事費を安くするためにも現地の石を使って施工しているところです。
53	30代	女性	茨城県	常総市	私が住んでいるのは、西に鬼怒川東に小貝川というように、水の海道沿いに住んでおります。(旧、水海道市です)産まれて30年程。・・・川の様子が変わっていくのが気になります。災害の為にコンクリート部分が多くなり、ゴミが捨てられないような対策をしている為か・・・木々が切られ・・・自然が自然でなくなっているように感じられます。幼い頃は、川で遊ぶにしても注意しながら浅い所で魚を追いかけ遊んだものです。下妻(旧千代川、大形橋)には、ピオトープが作られています、そんなものがところどころにあっても、いい世の中になってしまったのですね・・・。水田用の堀に、メダカが住んでいたことがありました。川にも希望があります。ブラックバスではなく、コイ、フナの姿が多く見られたら・・・災害の為に整備・・・それも必要不可欠かと思いますが、自然の教科書をなくすことはしないようご配慮願います。	河川は洪水等による自然現象や流域の変化などにより、その様子が大きく変わります。河川整備にあたっては、従来より水門等の構造物周辺や水衝部などの構造上やむを得ない場所を除いて動植物や景観等に配慮した「多自然川づくり」を推進していきます。 鬼怒川・小貝川には豊かな自然が残っております。河川整備計画の実施に当たっては、対策の安全性、確実性、経済性、効率性はもとより、環境の保全にも十分配慮していきます。具体的には、生態系の基盤となる瀬淵、ヨシ原、湿地等の良好な動植物の生息・生育環境の保全に十分配慮するとともに、鬼怒川における礫河原、小貝川における湿性環境などの河川の特徴を保全・再生する取り組みも実施します。

受付 番号	年代	性別	住所		意見及び質問	回答
			都・県	市区町村		
54	40代	女性	栃木県	宇都宮市	<p>栃木県と宇都宮市被告のダム訴訟を傍聴しています。パワーポイントを使って工夫された傍聴人にも分かりやすい原告団の説明を聴きダムは不要だと私の中で判断しています。宇都宮市は水も余っています。なぜムダなダムを造るのか理解出来ません。その分、税金を教育に回してください。</p>	<p>湯西川ダムは、鬼怒川及び利根川下流地域の洪水被害の軽減、既得かんがい用水などの取水等に必要な水量の確保、宇都宮市及び茨城県・千葉県の新規都市用水の確保を目的として、利根川水系湯西川（栃木県日光市）で建設を進めている多目的ダムです。</p> <p>湯西川ダムが完成すると、最大毎秒810m<sup>3</sup>の洪水調節を行い、利根川水系の上流ダム群とともに、下流部の洪水被害を軽減し、沿川地域の人々の生命・財産を守ります。また、3県（茨城県、栃木県、千葉県）の水需給に応えるため、都市用水として毎秒約2.5m<sup>3</sup>の供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに限って取水できる、暫定豊水水利権として毎秒約0.8m<sup>3</sup>（約30%）が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>湯西川ダムの建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。</p> <p>上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p> <p>今後とも、ダム建設により移転を余儀なくされる住民の方々の生活再建を最優先に進め、地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、事業の早期完成を目指します。</p>